

訪日外国人の消費動向

インバウンド消費動向調査結果及び分析

2024 年 10-12 月期 報告書

訪日外国人の消費動向
2024 年 10-12 月期 報告書

目 次

I 訪日外国人の消費動向の分析結果

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

(1) 全目的 3
(2) 観光・レジャー目的 9

2. 訪日外国人の旅行支出

(1) 旅行支出の構造 13
(2) 旅行前支出 14
(3) 旅行中支出 14
(4) 旅行支出の推計 16
(5) 費目別にみる旅行支出 18
(6) 来訪目的別にみる旅行支出 19
(7) クルーズ客の旅行中支出 19

3. 土産品の購入実態

(1) 費目別購入率 20
(2) 費目別購入者単価 20
(3) 買物場所 21
(4) 利用した決済方法 21
(5) 消費税免税手続きの実施状況 22

4. 満足度と再訪意向

(1) 訪日旅行全体の満足度 23
(2) 日本への再訪意向 23
(3) 最も満足した購入商品 24
(4) 最も満足した飲食 24

5. 旅行情報と旅行情報源

(1) 出発前に役に立った旅行情報源 25
(2) 出発前に旅行情報を得た言語 25
(3) 日本滞在中に役に立った旅行情報源 26
(4) 日本滞在中に役に立った旅行情報 26

6. 日本滞在中の行動

(1) 訪日前に期待していたこと 27
(2) 今回したことと次回したいこと 28
(3) 今回したことの満足度 28
(4) 利用した交通手段 29

「インバウンド消費動向調査」は、次に示す3つの調査から構成されている（それぞれの調査の概要についてはⅡ編を参照のこと）。

- 【A 1 全国調査】
- 【B 1 地域調査】
- 【B 2 クルーズ調査】

本報告書のⅠ編は【A 1 全国調査】及び【B 1 地域調査】の結果を分析したものである。ただし、「2. 訪日外国人の旅行支出」におけるクルーズ客の消費動向では【B 2 クルーズ調査】の結果を使用している。

Ⅱ インバウンド消費動向調査(旧 訪日外国人消費動向調査)について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的 31

(2) 調査の沿革 31

(3) 調査の根拠法令 31

(4) 調査の対象 31

(5) 抽出方法 32

(6) 目標精度と標本サイズ 32

(7) 調査事項 33

(8) 調査の時期 34

(9) 調査の方法 34

2. 用語の解説

(1) 主要項目 35

(2) 支出費目 37

(3) 買物場所 42

3. 調査の結果

(1) 表章事項 43

(2) 集計方法 43

(3) 調査結果の精度 44

(4) 利用上の注意 44

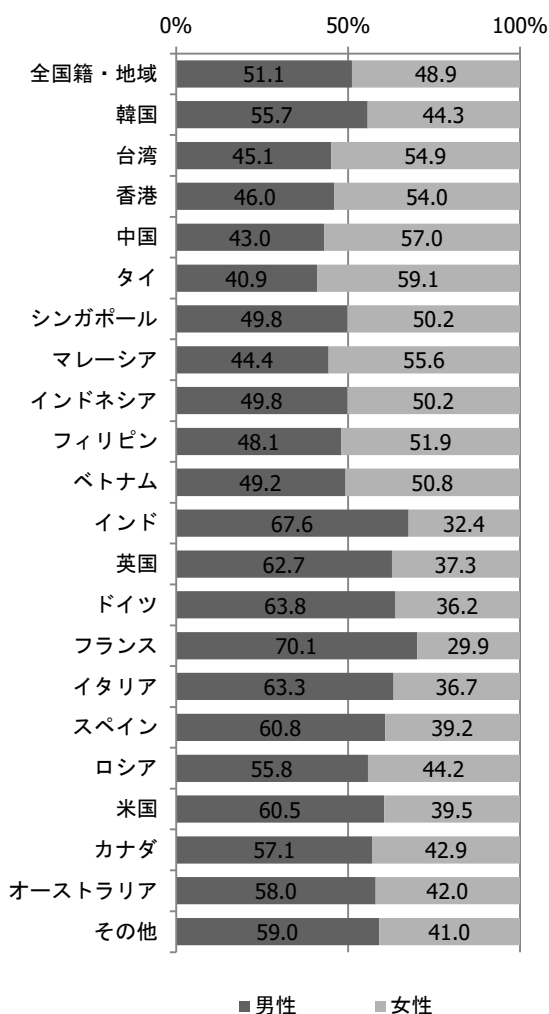
I 訪日外国人の消費動向の分析結果【2024 年 10-12 月期】

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

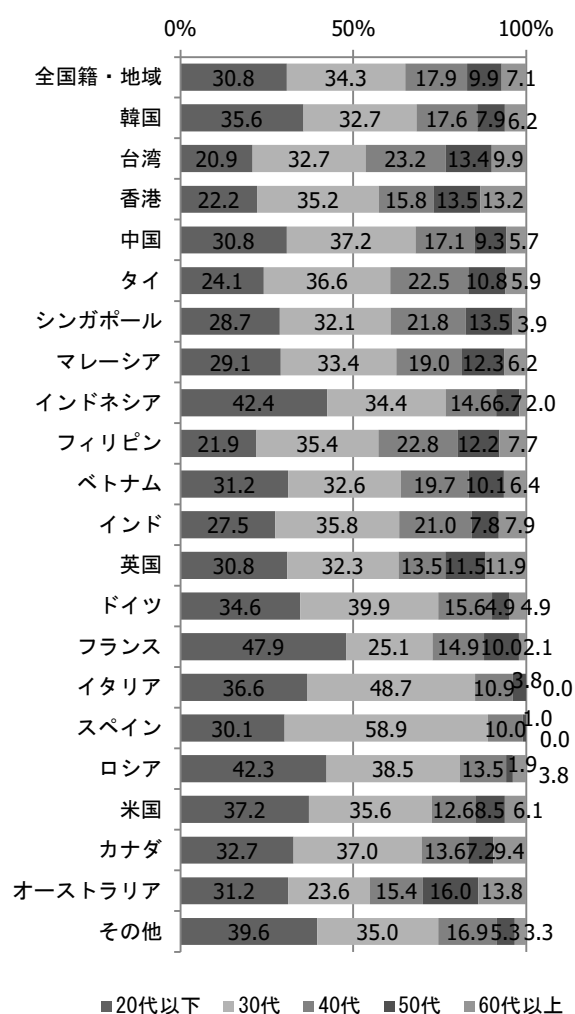
(1) 全目的

- 性別の構成比は「男性」が 51.1%、「女性」が 48.9%である（図表 1-1）。
 - 国籍・地域別では、台湾、香港、中国、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナムで「女性」の割合が 5 割を超える。一方、フランスでは「男性」の割合が 7 割を超える。
 - 年代別の構成比は、「20 代以下」(30.8%) と「30 代」(34.3%) が高い（図表 1-2）。
 - 性年代別では「男性 30 代」(18.5%)、「女性 30 代」(15.8%)、「男性 20 代」(14.9%) の順で多い。
- （注：年代別構成比には調査対象外である 15 歳未満を含まない。）

図表 1-1 性別（国籍・地域別、全目的）

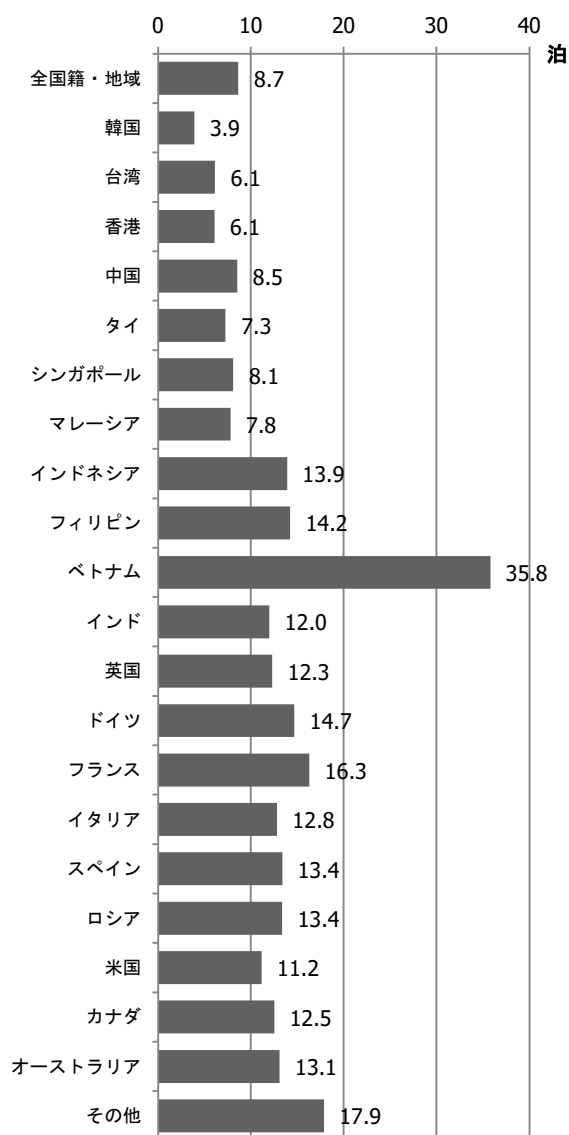


図表 1-2 年代（国籍・地域別、全目的）

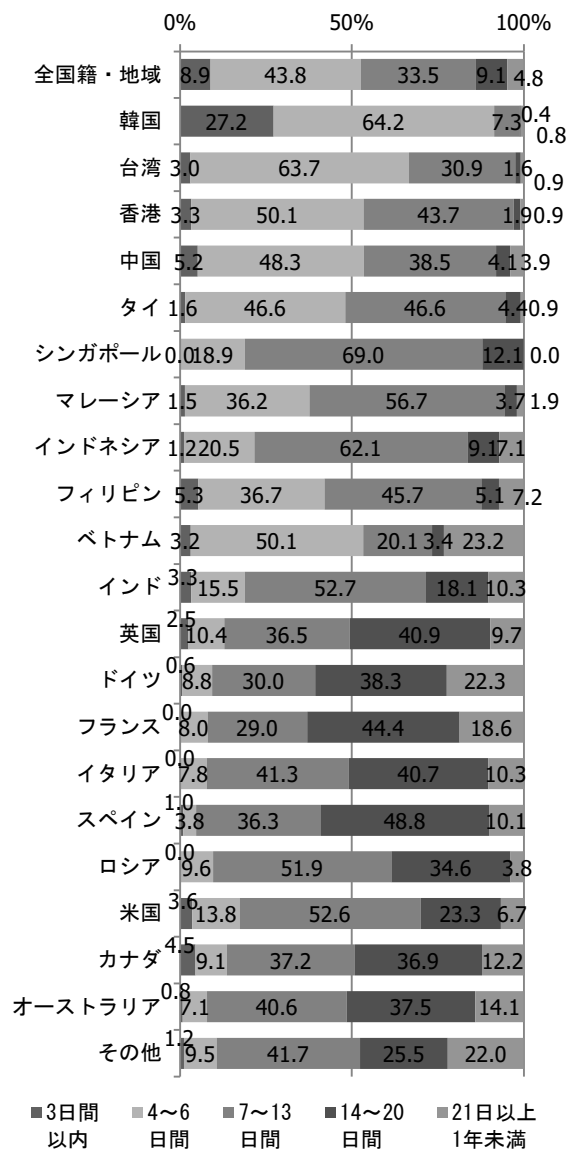


- 回答者全体の平均泊数は 8.7 泊である（図表 1-3）。
- 国籍・地域別にみると、ベトナムが 35.8 泊と長く、次いでフランスが 16.3 泊、ドイツが 14.7 泊となっている。一方、東アジア（韓国、台湾、香港、中国）は 10 泊未満と、他の国籍・地域に比べて平均泊数が短い。
- 滞在日数の分布をみると、6 日間以内の滞在者が約 5 割を占める（図表 1-4）。
- 国籍・地域別にみると、韓国で「3 日間以内」の割合が約 3 割と、他の国籍・地域に比べて高い。一方、ベトナム、ドイツでは 21 日以上滞りが 2 割超となっており、他の国籍・地域に比べて滞在日数が長い傾向がある。

図表 1-3 平均泊数（国籍・地域別、全目的）

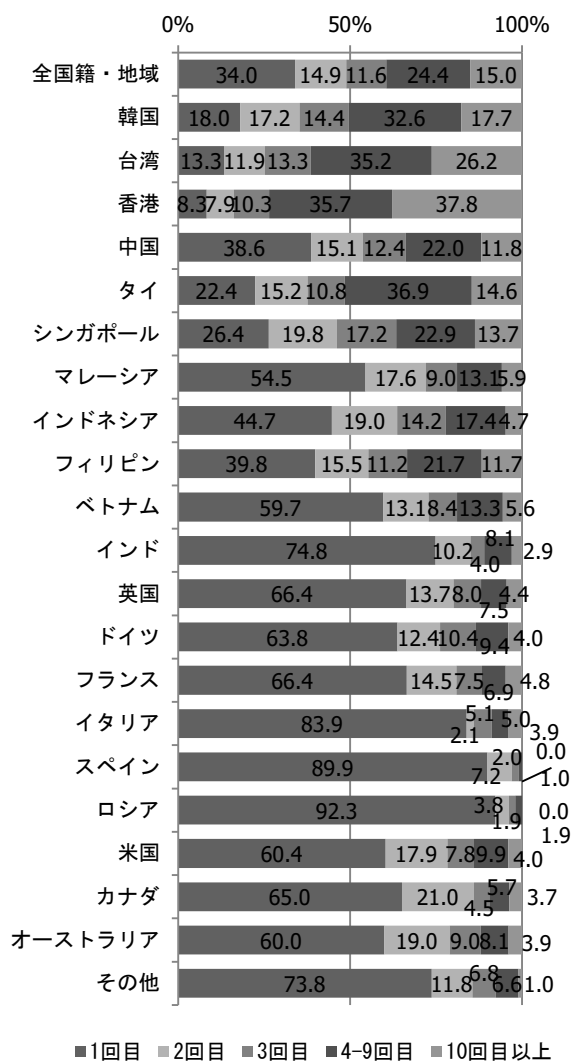


図表 1-4 滞在日数（国籍・地域別、全目的）

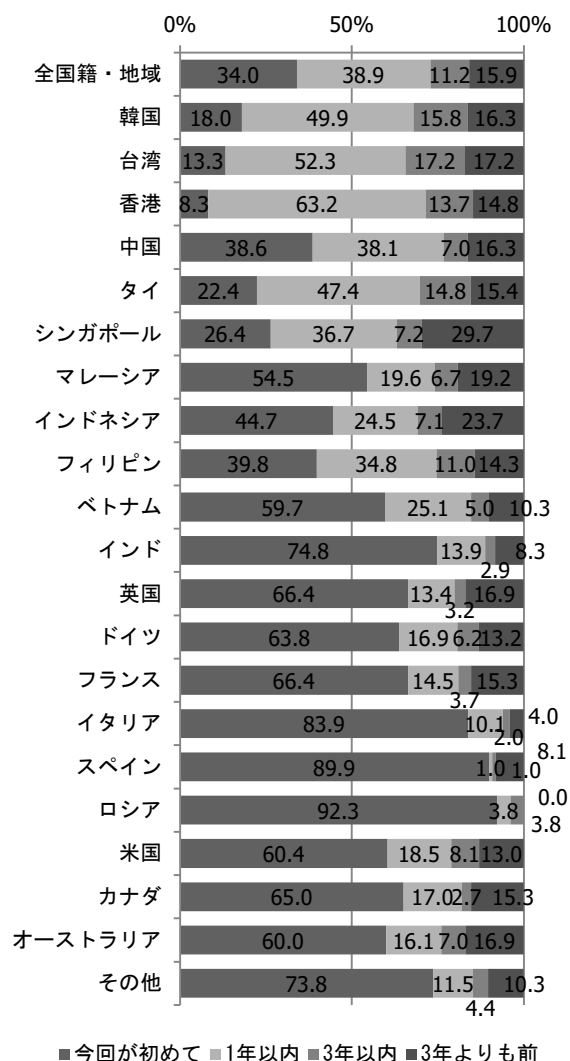


- 日本への来訪回数では、「1 回目」が 34.0%と最も多い。また、「4-9 回目」が 24.4%で次に多い（図表 1-5）。
- 国籍・地域別では、インド、イタリア、スペイン、ロシアで「1 回目」の割合が 7 割超と高い。一方、韓国（18.0%）、台湾（13.3%）、香港（8.3%）では「1 回目」の割合が他の国籍・地域に比べ低い。
- 前回の日本への来訪時期では、「1 年以内」が 38.9%と最も多い（図表 1-6）。
- 国籍・地域別では、韓国、台湾、香港、タイの「1 年以内」の割合が 4 割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-5 来訪回数（国籍・地域別、全目的）

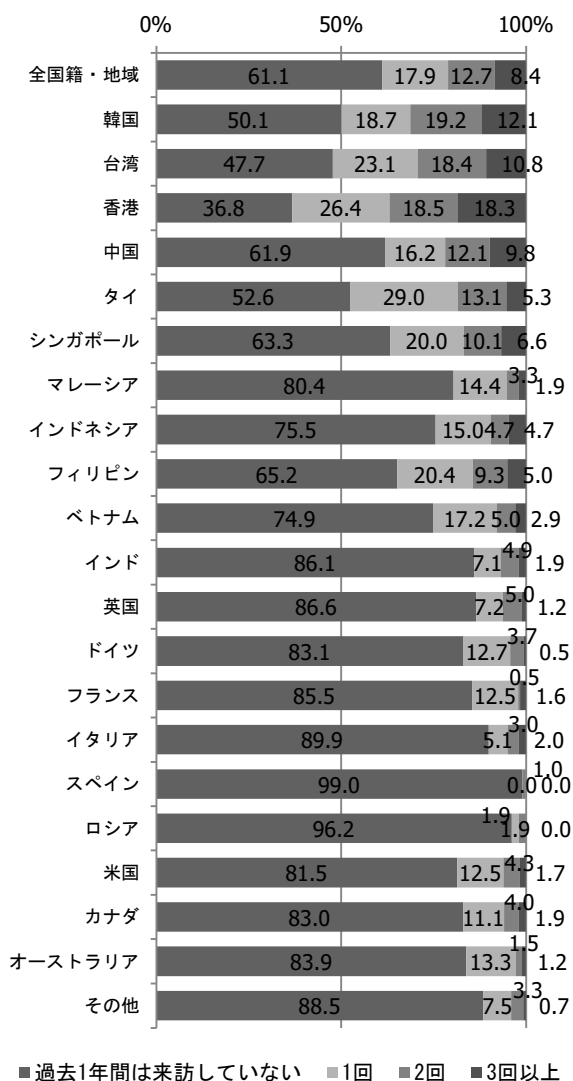


図表 1-6 前回の日本への来訪時期（国籍・地域別、全目的）

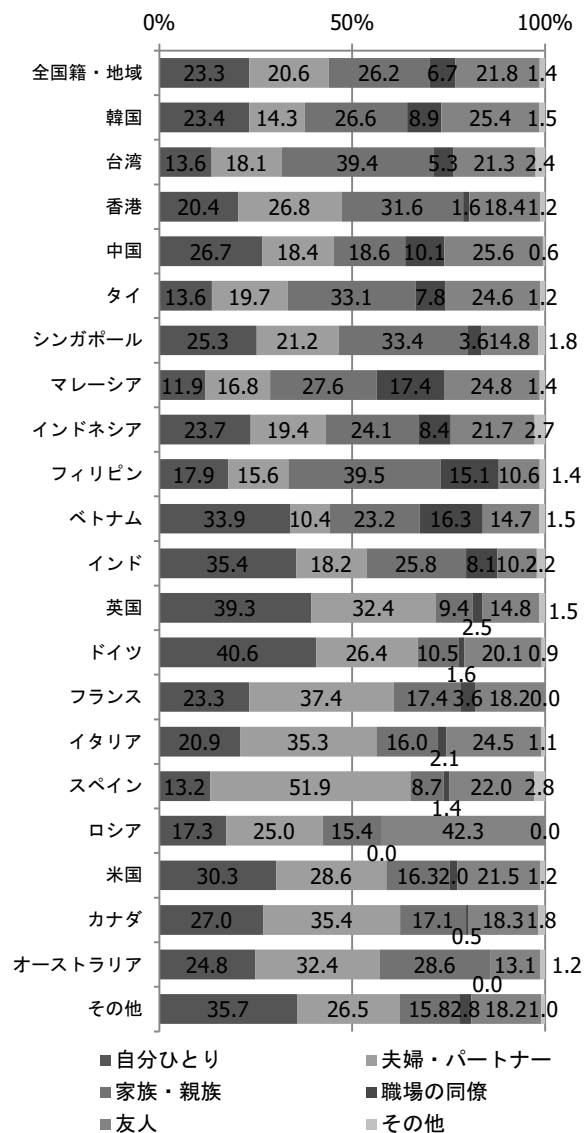


- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「過去1年間は来訪していない」（0回）が61.1%を占める（図表1-7）。
- 国籍・地域別にみると、過去1年間に2回以上日本を訪れている割合は、韓国（31.2%）、台湾（29.2%）、香港（36.9%）で他の国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は、「家族・親族」（26.2%）が最も多く、次いで「自分ひとり」（23.3%）、「友人」（21.8%）、「夫婦・パートナー」（20.6%）、「職場の同僚」（6.7%）の順となっている（図表1-8）。
- 国籍・地域別にみると、台湾、香港、タイ、シンガポール、フィリピンで「家族・親族」の割合が3割超と、他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-7 過去1年間の日本への来訪回数
（国籍・地域別、全目的）

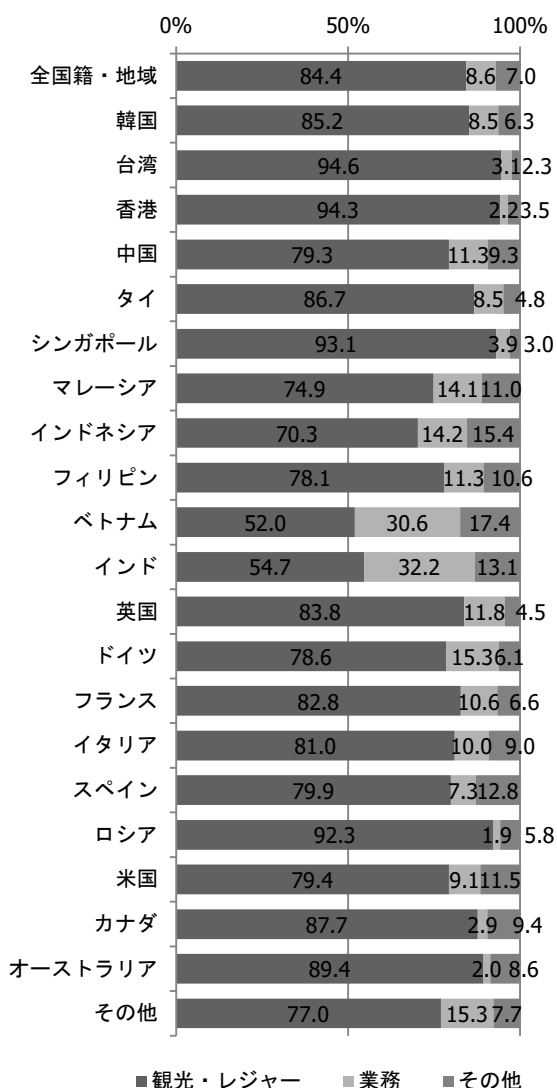


図表 1-8 同行者（国籍・地域別、全目的）

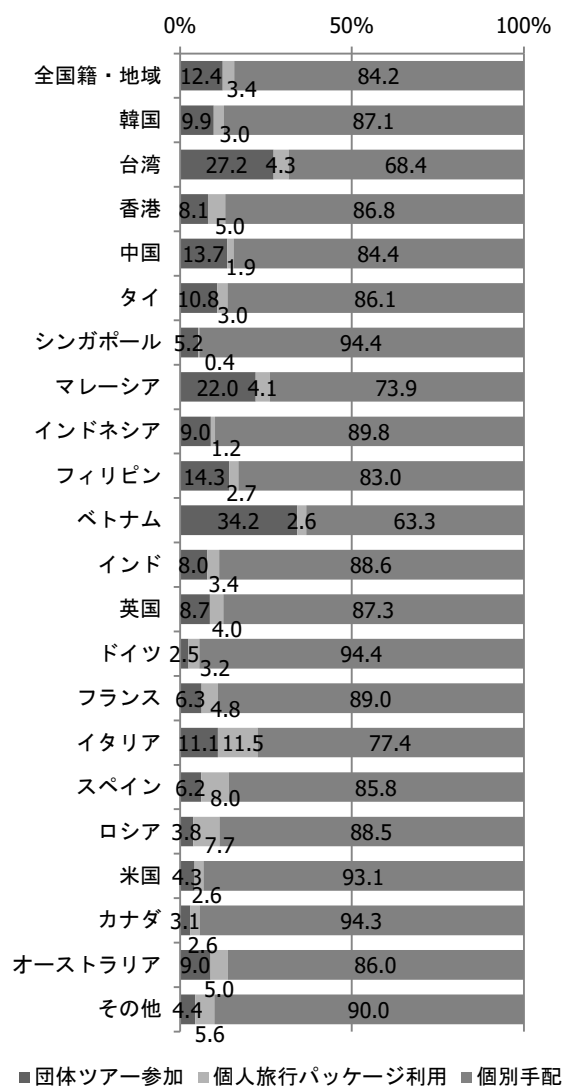


- 日本への主な来訪目的では「観光・レジャー」が全体の 84.4%を占める。一方、「業務(展示会・見本市／国際会議／企業ミーティング／研修／その他ビジネス)」は全体の 8.6%を占める(図表 1-9)。
- 国籍・地域別では、「観光・レジャー」の割合が台湾、香港、シンガポール、ロシアで 9 割超と高い。「業務」はベトナム、インドで約 3 割と他の国籍・地域に比べ高い。
- 旅行手配方法では「旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した(以下、**団体ツアー参加**)」が 12.4%、「往復航空(船舶)券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した(以下、**個人旅行パッケージ利用**)」が 3.4%、「往復航空(船舶)券や宿泊等を個別に手配した(以下、**個別手配**)」が 84.2%を占める(図表 1-10)。

図表 1-9 主な来訪目的(国籍・地域別、全目的)

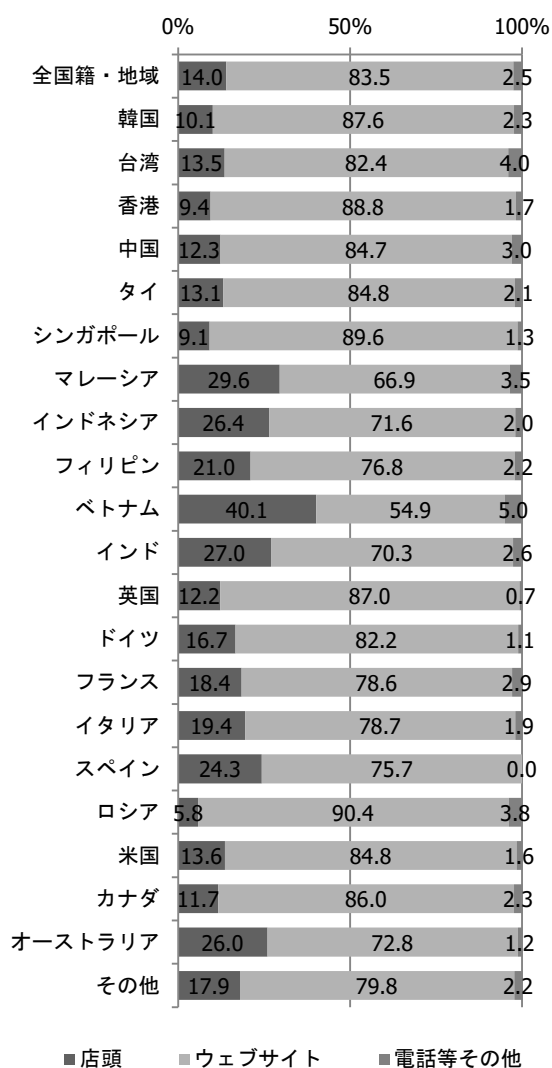


図表 1-10 旅行手配方法(国籍・地域別、全目的)



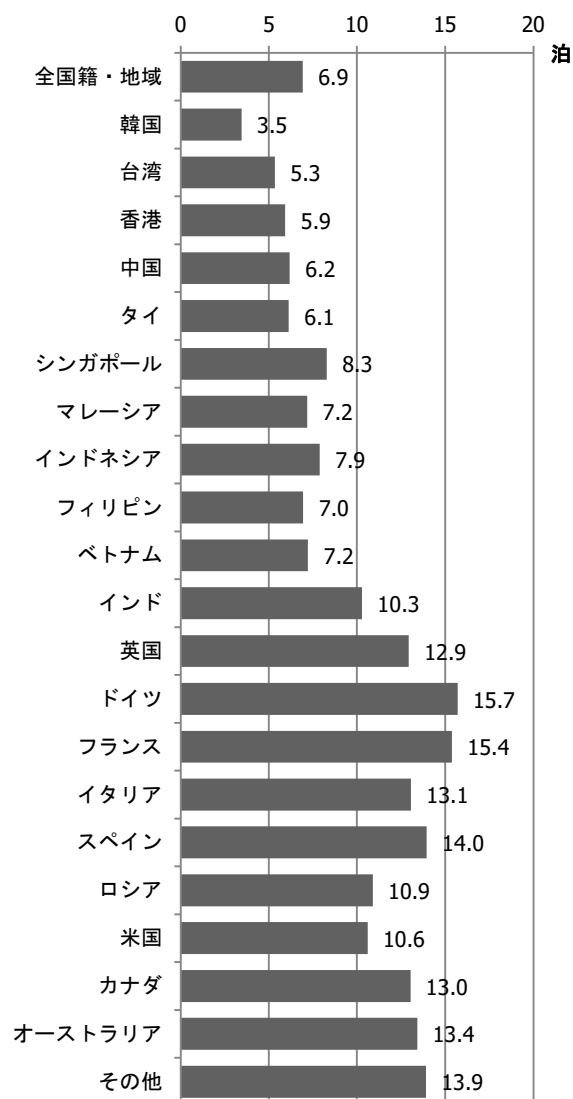
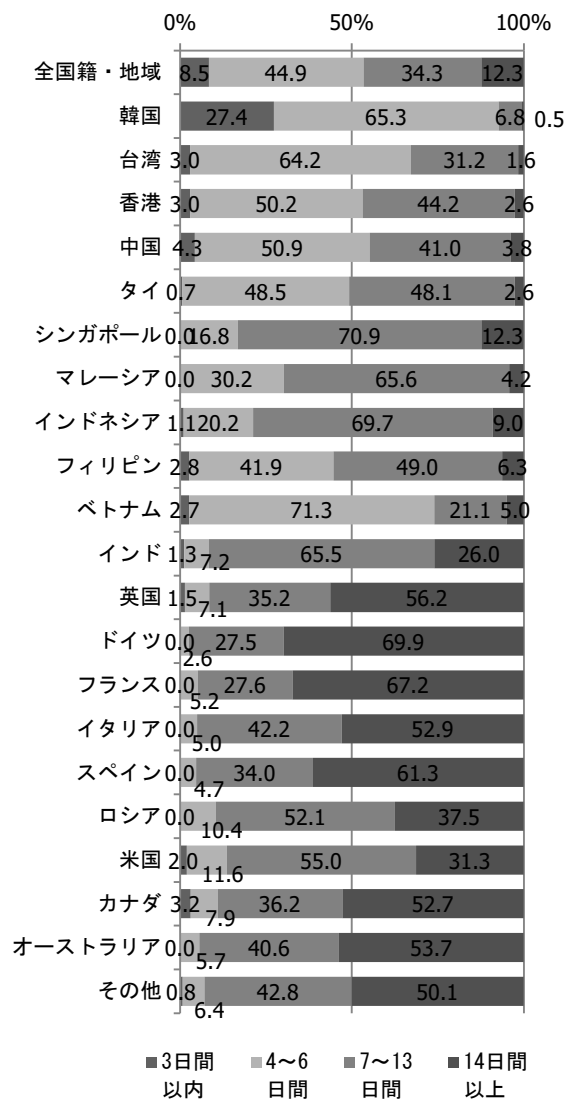
- ツアー商品や往復航空（船舶）券の**申込方法**では、「店頭（旅行会社や航空会社等）で申し込んだ（以下、**店頭**）」人の割合が全体の 14.0%、「ウェブサイトから申し込んだ（以下、**ウェブサイト**）」人の割合が同 83.5%を占める（図表 1-11）。
- 国籍・地域別では、「店頭」の割合がベトナムで約 4 割、マレーシア、インドネシア、フィリピン、インド、スペイン、オーストラリアで 2 割超と高い。

図表 1-11 申込方法（国籍・地域別、全目的）



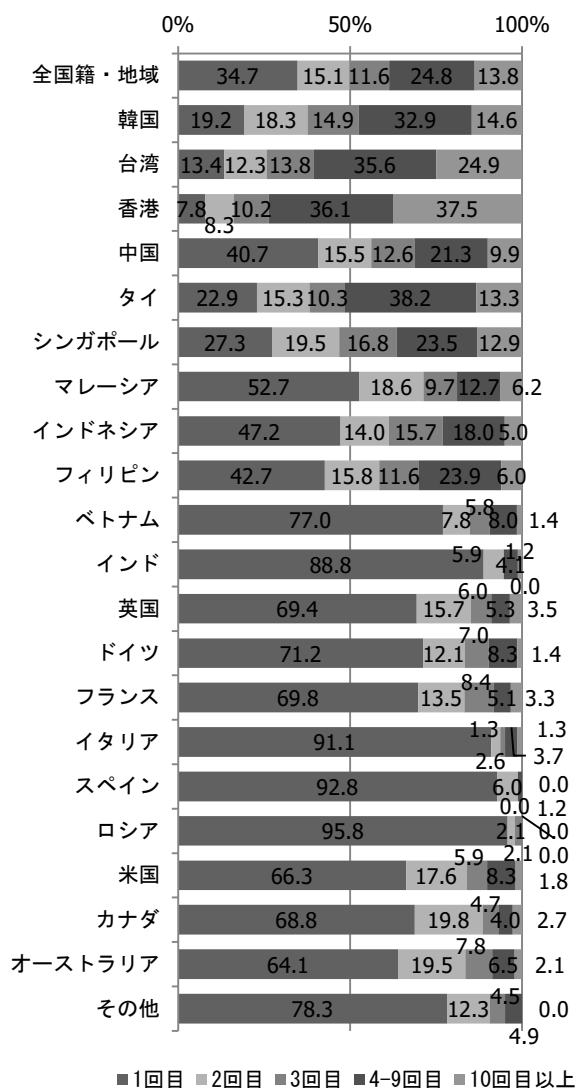
(2) 観光・レジャー目的

- 観光・レジャー目的で訪れた訪日外国人の平均泊数は6.9泊である(図表 1-12)。
- 国籍・地域別にみると、欧米豪で平均泊数が長い傾向にあり、特にドイツ(15.7泊)、フランス(15.4泊)が長い。
- 滞在日数では、「4～6日間」が44.9%を占める(図表 1-13)。
- 国籍・地域別にみると、韓国では「3日間以内」の割合が27.4%と他の国籍・地域に比べて高い。ドイツ、フランス、スペインでは「14日間以上」の割合がいずれも6割超と他の国籍・地域に比べ高い。

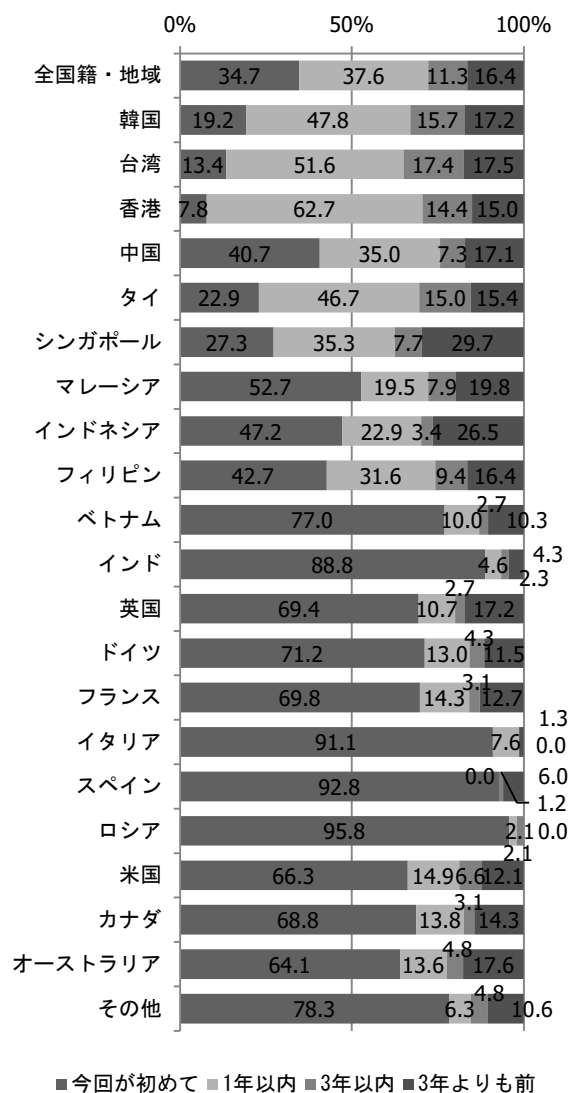
図表 1-12 平均泊数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)図表 1-13 滞在日数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

- 日本への来訪回数では、「1回目」が34.7%と最も多い（図表 1-14）。
- 国籍・地域別では、「1回目」の割合がイタリア、スペイン、ロシアで9割超と他の国籍・地域に比べ高い。一方、台湾、香港では「10回目以上」の割合が2割超と他の国籍・地域に比べ高い。
- 前回の日本への来訪時期では、「今回が初めて」を除くと、「1年以内」が37.6%と最も多い（図表 1-15）。
- 国籍・地域別では、「1年以内」の割合が韓国、台湾、タイで4割超、香港が6割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-14 来訪回数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

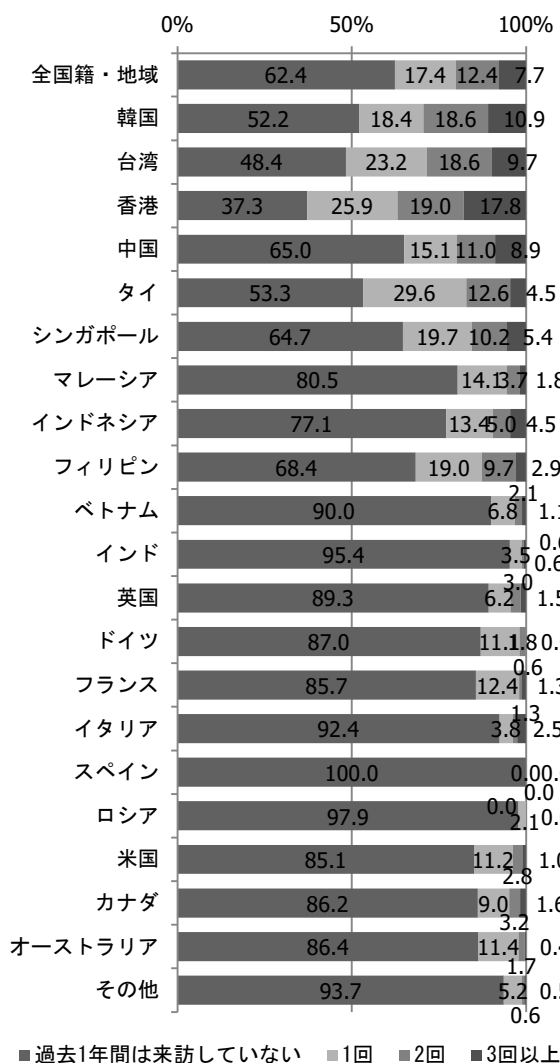


図表 1-15 前回の日本への来訪時期
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

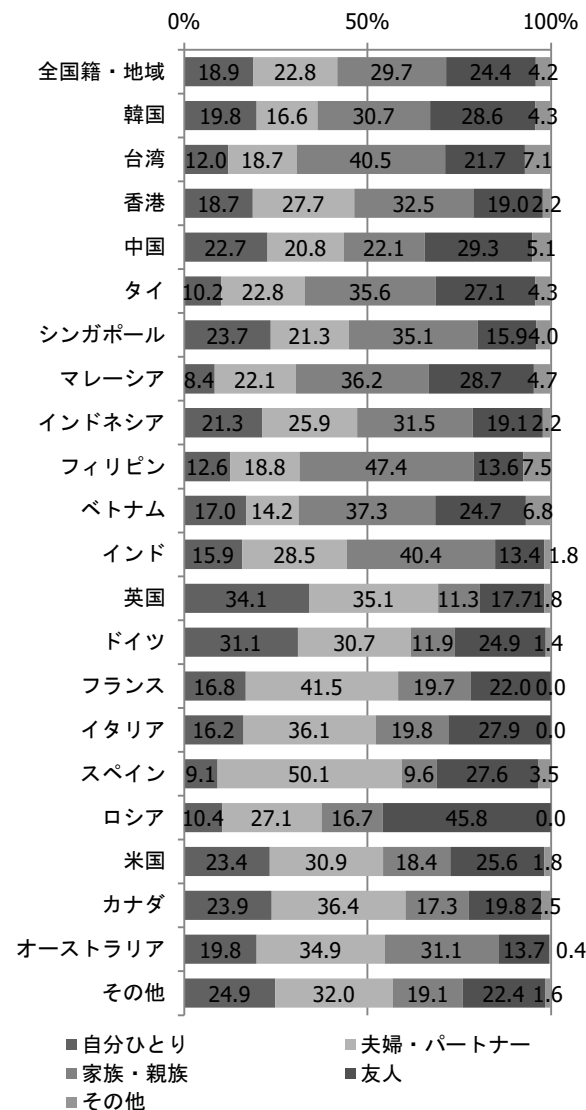


- 過去 1 年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「過去 1 年間は来訪していない」（0 回）が 62.4%を占める（図表 1-16）。
- 国籍・地域別にみると、過去 1 年間に 2 回以上日本を訪れている割合は、香港で約 4 割、韓国、台湾で約 3 割と、他の国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は「家族・親族」（29.7%）、「友人」（24.4%）、「夫婦・パートナー」（22.8%）、「自分ひとり」（18.9%）の順となっている（図表 1-17）。
- 国籍・地域別では、台湾、フィリピン、インドで「家族・親族」の割合が 4 割超と、他の国籍・地域に比べて高い。英国、ドイツは「自分ひとり」が約 3 割、フランス、スペインは「夫婦・パートナー」の割合が約 5 割と高い。

図表 1-16 過去 1 年間の日本への来訪回数
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）

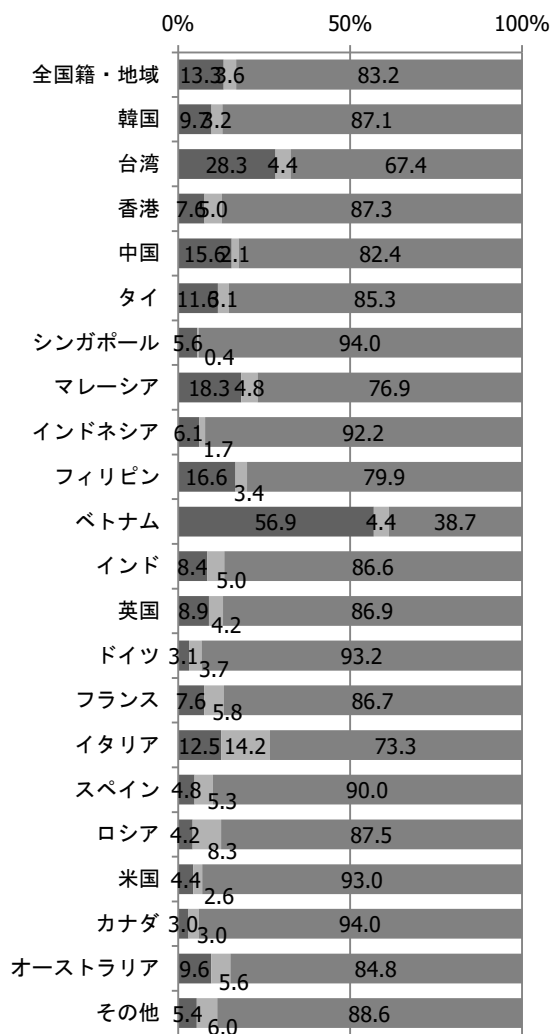


図表 1-17 同行者
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



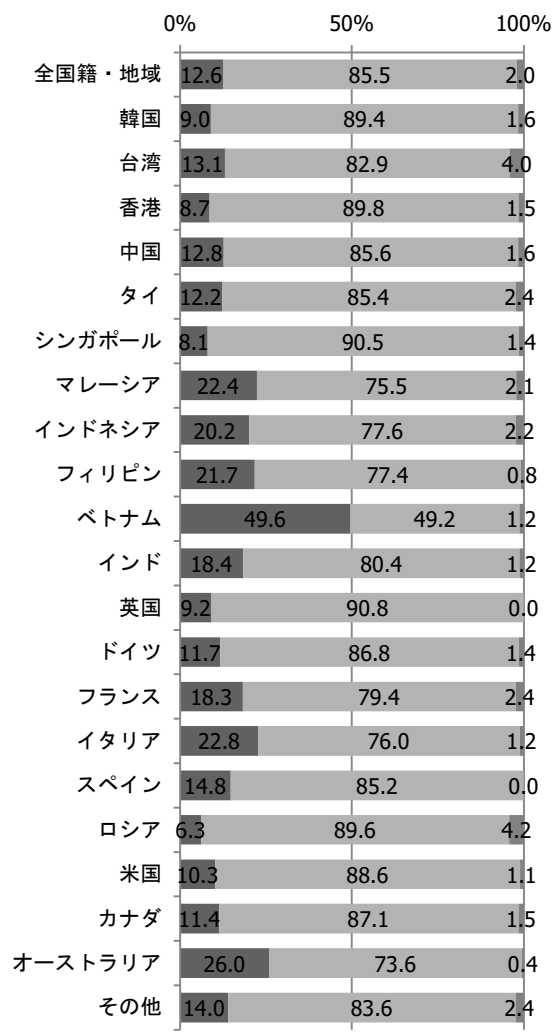
- 旅行手配方法では「団体ツアー参加」が13.3%、「個人旅行パッケージ利用」が3.6%、「個別手配」が83.2%を占める（図表 1-18）。
- 国籍・地域別では、「団体ツアー参加」の割合がベトナムで約6割、台湾で約3割と他の国籍・地域に比べて高い。
- ツアー商品や往復航空（船舶）券の申込方法では、「店頭」の割合が12.6%、「ウェブサイト」の割合が85.5%を占める（図表 1-19）。
- 国籍・地域別では「店頭」の割合が、ベトナムで約5割、マレーシア、インドネシア、フィリピン、イタリア、オーストラリアで2割超と、他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-18 旅行手配方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



■ 団体ツアー参加 ■ 個人旅行パッケージ利用 ■ 個別手配

図表 1-19 申込方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



■ 店頭 ■ ウェブサイト ■ 電話等その他

2. 訪日外国人の旅行支出

(1) 旅行支出の構造

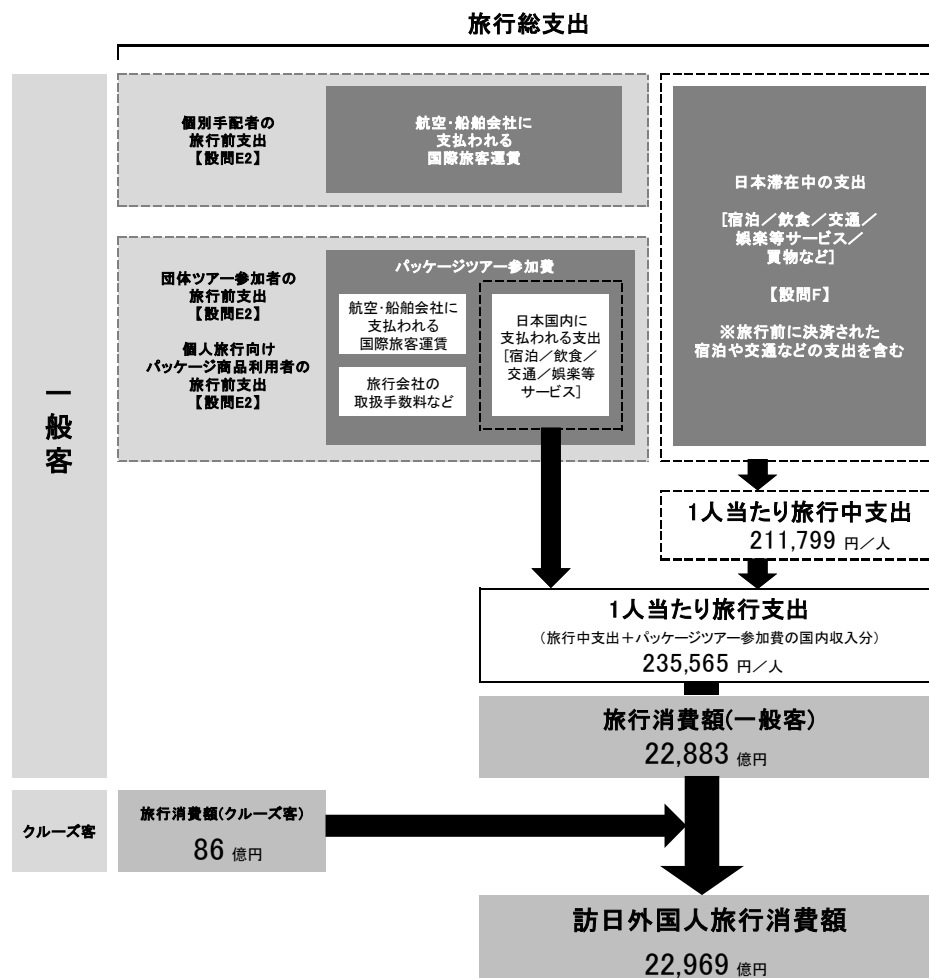
- 本調査では、船舶観光上陸許可を得た訪日外国人をクルーズ客、これ以外の訪日外国人を一般客とする（図表 2-1）。
- **旅行前支出**は旅行手配方法別に捉え方が異なる。団体ツアー参加者^{注1}及び個人旅行パッケージ利用者^{注2}についてはパッケージツアー参加費を旅行前支出として尋ねている。一方、個別手配者^{注3}については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃を旅行前支出として尋ねている。
- **旅行中支出**とは、日本滞在中の支出であり、宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代など日本滞在中に支払ったすべての支出金額を尋ねている。

注1) 旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した人

注2) 往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した人

注3) 往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配した人

図表 2-1 インバウンド消費動向調査における旅行支出の構造 概念図



- **パッケージツアー参加費**には、日本国内に支払われる支出（宿泊／飲食／交通／娯楽等サービス）や航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃などが含まれる。本調査では、このうち日本国内に支払われる支出（以下、国内収入分）を旅行中支出に加算することにより、一般客の旅行消費額（総額）を推計する。ただし、クルーズ客ではパッケージツアー参加費の国内収入分の加算は行わない。

（２）旅行前支出

- 一般客における**団体ツアー**の購入者単価は１人当たり平均 227,196 円、**個人旅行パッケージ**の購入者単価は１人当たり平均 252,147 円であった（図表 2-2）。

- **個別手配者**の国際旅客運賃（出発国から日本までの往復運賃）の購入者単価は一般客 1 人当たり平均 95,019 円であった（図表 2-2）。

（３）旅行中支出

- 一般客が日本滞在中に支出した**旅行中支出**は１人当たり平均 211,799 円であった。旅行手配方法別では、**団体ツアー参加者**では１人当たり平均 84,506 円、**個人旅行パッケージ利用者**では１人当たり平均 134,374 円、**個別手配者**では１人当たり平均 233,705 円であった（図表 2-3）。
- 旅行前支出と旅行中支出を合算した**旅行総支出**は、一般客 1 人当たり平均 328,547 円であった（図表 2-4）。

図表 2-2 一般客 1 人当たり旅行前支出（旅行手配方法別）

【団体ツアー参加者】

国籍・地域	(%)	(円/人)
団体ツアー参加率	団体ツアー購入者単価	
全国籍・地域	12.4%	227,196
韓国	9.9%	122,040
台湾	27.2%	187,536
香港	8.1%	242,333
中国	13.7%	177,270
タイ	10.8%	186,090
シンガポール	5.2%	314,371
マレーシア	22.0%	272,896
インドネシア	9.0%	233,430
フィリピン	14.3%	199,174
ベトナム	34.2%	178,409
インド	8.0%	353,202
英国	8.7%	795,188
ドイツ	2.5%	861,903
フランス	6.3%	956,537
イタリア	11.1%	635,295
スペイン	6.2%	551,098
ロシア	3.8%	594,338
米国	4.3%	661,824
カナダ	3.1%	448,326
オーストラリア	9.0%	670,555
その他	4.4%	564,442

【個人旅行パッケージ利用者】

国籍・地域	(%)	(円/人)
個人旅行パッケージ利用率	個人旅行パッケージ購入者単価	
全国籍・地域	3.4%	252,147
韓国	3.0%	88,697
台湾	4.3%	119,529
香港	5.0%	217,159
中国	1.9%	115,418
タイ	3.0%	135,617
シンガポール	0.4%	400,237
マレーシア	4.1%	250,304
インドネシア	1.2%	318,933
フィリピン	2.7%	169,364
ベトナム	2.6%	260,414
インド	3.4%	263,217
英国	4.0%	520,619
ドイツ	3.2%	709,301
フランス	4.8%	534,246
イタリア	11.5%	609,736
スペイン	8.0%	504,701
ロシア	7.7%	219,089
米国	2.6%	518,441
カナダ	2.6%	822,819
オーストラリア	5.0%	562,033
その他	5.6%	492,617

【個別手配者】

国籍・地域	(%)	(円/人)
個別手配比率	国際旅客運賃購入者単価	
全国籍・地域	84.2%	95,019
韓国	87.1%	37,534
台湾	68.4%	73,548
香港	86.8%	63,169
中国	84.4%	58,906
タイ	86.1%	101,842
シンガポール	94.4%	110,364
マレーシア	73.9%	101,691
インドネシア	89.8%	89,592
フィリピン	83.0%	78,358
ベトナム	63.3%	91,379
インド	88.6%	135,587
英国	87.3%	238,003
ドイツ	94.4%	218,008
フランス	89.0%	207,708
イタリア	77.4%	205,258
スペイン	85.8%	181,670
ロシア	88.5%	125,046
米国	93.1%	195,958
カナダ	94.3%	168,975
オーストラリア	86.0%	154,624
その他	90.0%	213,725

図表 2-3 一般客 1 人当たり旅行中支出（国籍・地域別）

	(円／人)	(円／人)	(円／人)	(円／人)	(泊)	(円／人泊)	(円／人泊)	(円／人泊)	(円／人泊)
国籍・地域	a.旅行中支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者	b.平均泊数	c.1泊当たり旅行中支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	211,799	84,506	134,374	233,705	8.7	24,461	16,556	18,169	25,308
韓国	101,162	41,000	50,028	109,729	3.9	25,854	14,075	15,491	27,097
台湾	170,264	93,094	122,461	204,022	6.1	27,735	21,651	22,296	29,516
香港	212,152	109,316	170,709	224,210	6.1	34,786	22,515	30,080	35,930
中国	257,372	109,219	182,761	283,112	8.5	30,164	20,167	35,193	31,064
タイ	196,004	80,919	90,025	214,215	7.3	26,895	18,199	18,812	27,700
シンガポール	267,813	42,523	43,471	281,241	8.1	33,009	5,986	5,434	34,424
マレーシア	183,249	62,053	61,090	226,147	7.8	23,467	11,985	10,132	26,019
インドネシア	193,098	51,422	141,033	208,014	13.9	13,876	8,271	15,674	14,099
フィリピン	172,582	73,803	92,488	192,172	14.2	12,112	15,053	29,171	11,852
ベトナム	169,131	54,603	168,312	230,996	35.8	4,723	13,329	8,039	4,315
インド	219,208	72,510	82,598	237,679	12.0	18,257	9,701	11,005	18,881
英国	349,996	148,977	142,279	379,483	12.3	28,439	11,432	14,228	30,752
ドイツ	343,548	122,183	220,824	353,466	14.7	23,368	8,388	15,710	24,002
フランス	304,789	99,526	99,242	330,276	16.3	18,683	7,168	9,049	19,692
イタリア	258,019	131,580	132,593	294,695	12.8	20,104	12,758	9,921	22,468
スペイン	322,083	111,834	157,012	352,758	13.4	24,038	10,560	12,812	25,731
ロシア	266,102	66,566	113,990	288,005	13.4	19,881	5,788	18,998	20,413
米国	325,599	128,814	189,801	338,426	11.2	29,156	13,269	11,914	30,485
カナダ	314,247	86,199	138,288	326,584	12.5	25,070	6,262	10,596	26,169
オーストラリア	334,781	116,503	229,058	363,661	13.1	25,549	8,772	15,898	27,955
その他	356,615	119,301	230,727	376,061	17.9	19,952	9,677	18,254	20,361

図表 2-4 一般客 1 人当たり旅行総支出（国籍・地域別）

	(円／人)	(円／人)	(円／人)	(円／人)	(泊)	(円／人泊)	(円／人泊)	(円／人泊)	(円／人泊)
国籍・地域	a.旅行総支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者	b.平均泊数	c.1泊当たり旅行総支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	328,547	311,702	386,521	328,724	8.7	37,944	61,069	52,261	35,597
韓国	148,564	163,039	138,724	147,264	3.9	37,969	55,972	42,956	36,366
台湾	276,857	280,630	241,990	277,570	6.1	45,099	65,268	44,059	40,156
香港	297,679	351,649	387,868	287,379	6.1	48,809	72,427	68,344	46,053
中国	333,574	286,489	298,180	342,018	8.5	39,094	52,899	57,418	37,527
タイ	308,002	267,009	225,642	316,056	7.3	42,263	60,053	47,151	40,869
シンガポール	389,986	356,893	443,708	391,605	8.1	48,067	50,243	55,463	47,933
マレーシア	328,729	334,949	311,395	327,838	7.8	42,098	64,695	51,646	37,719
インドネシア	298,368	284,852	459,966	297,606	13.9	21,441	45,815	51,120	20,171
フィリピン	270,648	272,977	261,851	270,530	14.2	18,995	55,678	82,589	16,685
ベトナム	294,607	233,012	428,725	322,376	35.8	8,227	56,881	20,478	6,021
インド	376,543	425,712	345,815	373,266	12.0	31,360	56,953	46,076	29,652
英国	647,690	944,165	662,898	617,486	12.3	52,627	72,449	66,290	50,039
ドイツ	593,034	984,086	930,124	571,474	14.7	40,339	67,556	66,172	38,806
フランス	575,000	1,056,063	633,488	537,983	16.3	35,246	76,064	57,765	32,076
イタリア	557,347	766,875	742,329	499,954	12.8	43,427	74,354	55,544	38,117
スペイン	552,624	662,933	661,714	534,428	13.4	41,243	62,600	53,994	38,982
ロシア	416,432	660,903	333,079	413,051	13.4	31,113	57,470	55,513	29,276
米国	549,861	790,638	708,242	534,384	11.2	49,237	81,444	44,457	48,136
カナダ	508,958	534,525	961,108	495,559	12.5	40,604	38,831	73,639	39,708
オーストラリア	556,032	787,058	791,092	518,284	13.1	42,434	59,260	54,907	39,841
その他	601,365	683,743	723,344	589,786	17.9	33,645	55,459	57,227	31,933

(4) 旅行支出の推計

- 一般客の旅行支出及び旅行消費額は、訪日外国人が日本国内で支払った旅行中支出に、パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費などの国内収入分（以下、パッケージ内訳）を加算することにより推計する。
- 今期のパッケージ内訳は1人当たり平均23,766円と推計される（図表2-5）。
- 旅行中支出にパッケージ内訳を加えた今期の旅行支出は1人当たり平均235,565円と推計され、今期の一般客の旅行消費額は2兆2,883億円と推計される。
- これにクルーズ客の旅行消費額86億円を加算し、2024年10-12月期の訪日外国人旅行消費額は2兆2,969億円と推計される。

図表 2-5 訪日外国人1人当たり旅行支出と訪日外国人旅行消費額の推移

		(円/人)		(円/人)		(円/人)		(人)		(億円)		(円/人)		(人)		(億円)		(億円)	
		一 般 客										クルーズ客							
		a. 日本国内での 旅行中支出 (パッケージ内訳を 含まない)		b. パッケージ ツアー参加費 に含まれる 国内収入分 (パッケージ内訳)		c. 旅行支出 (パッケージ内訳 を含む) (=a+b)		d. 一般客数		e. 旅行 消費額 (=c×d)		f. 旅行中 支出		g. クルーズ 客数		h. 旅行 消費額 (=f×g)		k. 訪日外国人 旅行消費額 (=e+h)	
				注1										注3					
		2019年比		2019年比		2019年比												2019年比	
暦 年	2019年	137,948	-	20,583	-	158,531	-	29,855,742	47,331			39,710	2,026,307	805			48,135	-	
	2023年 注4	193,120	+40.0%	19,644	-4.6%	212,764	+34.2%	24,899,890	52,978			52,437	166,460	87			53,065	+10.2%	
	2024年	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	-			-	-	
	2024年	-	-	-	-	-	-	-	-			-	-	-			-	-	
四 半 期	2019年1-3月期	130,034	-	17,379	-	147,413	-	7,693,723	11,342			48,631	360,074	175			11,517	-	
	2019年4-6月期	134,203	-	20,764	-	154,967	-	8,050,409	12,475			37,244	529,408	197			12,873	-	
	2019年7-9月期	140,952	-	21,907	-	162,860	-	7,093,271	11,552			38,473	690,935	266			11,818	-	
	2019年10-12月期	147,883	-	22,551	-	170,434	-	7,018,339	11,962			37,352	445,890	167			12,128	-	
	2023年1-3月期	195,383	+50.3%	15,657	-9.9%	211,040	+43.2%	4,787,169	10,103			-	3,374	-			10,103	-12.3%	
	2023年4-6月期	188,233	+40.3%	20,432	-1.6%	208,665	+34.7%	5,903,493	12,319			-	18,360	-			12,319	-2.8%	
	2023年7-9月期	191,123	+35.6%	18,105	-17.4%	209,228	+28.5%	6,578,491	13,764			44,253	83,835	37			13,801	+16.8%	
	2023年10-12月期	197,203	+33.4%	22,863	+1.4%	220,066	+29.1%	7,630,737	16,793			63,237	60,891	39			16,831	+38.8%	
	2024年1-3月期	193,307	+48.7%	17,782	+2.3%	211,089	+43.2%	8,354,418	17,635			31,947	204,065	65			17,700	+53.7%	
	2024年4-6月期	210,284	+56.7%	28,744	+38.4%	239,028	+54.2%	8,889,414	21,248			45,871	334,525	153			21,402	+68.9%	
	2024年7-9月期	196,897	+39.7%	22,881	+4.4%	219,777	+34.9%	8,655,602	19,023			36,706	442,868	163			19,186	+62.3%	
	2024年10-12月期	211,799	+43.2%	23,766	+5.4%	235,565	+38.2%	9,714,196	22,883			31,109	275,060	86			22,969	+89.4%	

注1) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者（参加費0円）も含めた全体平均の値である。

注2) 訪日外客数（日本政府観光局、暫定値）からクルーズ客数を控除した値。

注3) 船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の人数（法務省「出入国管理統計」）

注4) 新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年のクルーズ調査は7-9月期および10-12月期のみ実施した。そのため、2023年1-3月期、4-6月期については、2023年7-9月期と10-12月期の1人当たり旅行支出の平均値を用い、1人当たり旅行支出に各期のクルーズ客数を乗じて消費額を算出し、四半期の消費額を積み上げ、年間のクルーズ客の旅行消費額を算出した。よって、年間値は参考値である。

【一般客の旅行消費額の推計方法（パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分の加算）】

一般客のパッケージツアー参加費には、「出発国から日本までの往復運賃」に加え、日本に支払われる「宿泊費」「飲食費」「交通費」「娯楽等サービス費」が含まれているものと仮定する。これらの費目のうち、「出発国から日本までの往復運賃」を除く費目の支出を、日本国内に支払われる支出（国内収入分）とみなす。

一般客の旅行消費額は、「旅行中支出」に「パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分」の金額を加算することにより推計する。パッケージツアー参加費の内訳は、観光・レジャー目的の個人手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて配分した。なお、この配分は国籍・地域毎（20市場と「その他の国籍・地域」の21区分）に行っている。

なお、本報告書で推計している訪日外国人旅行消費額には、日本の航空会社及び船舶会社に支払われる国際旅客運賃（往復運賃）が含まれない点に留意されたい。

- 一般客の旅行消費額を国籍・地域別にみると、①中国 4,233 億円（構成比 18.5%）、②台湾 2,923 億円（同 12.8%）、③米国 2,673 億円（同 11.7%）、④韓国 2,609 億円（同 11.4%）⑤香港 1,633 億円（同 7.1%）の順となっている（図表 2-6）。
- 前述の上位 5 ヶ国・地域合計で 1 兆 4,071 億円（構成比 61.5%）を占める。

エリア別では、東アジア 4 ヶ国・地域（韓国、台湾、香港、中国）合計で 1 兆 1,398 億円（同 49.8%）、東南アジア 6 ヶ国（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム）合計で 3,273 億円（同 14.3%）、欧州 5 ヶ国（英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン）合計で 1,548 億円（同 6.8%）となっている

図表 2-6 一般客1人当たり旅行支出と旅行消費額（国籍・地域別）

2024年10-12月期 国籍・地域	(円/人)		(円/人)		(円/人)		(人)		(億円)		
	a. 日本国内での 旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない)		b. パッケージ ツアー参加費 に含まれる 国内収入分 (パッケージ内訳)		c. 旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b)		d. 一般客数 (クルーズ客を除く)		e. 旅行消費額 (クルーズ客を除く) (=c×d)		
	注1		注1		注1		注2		注2		
	2019年比		2019年比		2019年比		2019年比		構成比	2019年比	
全国籍・地域	211,799	+43.2%	23,766	235,565	+38.2%	9,714,196	+38.4%	22,883	100.0%	+91.3%	
韓国	101,162	+26.2%	10,020	111,181	+30.7%	2,346,376	+262.8%	2,609	11.4%	+374.0%	
台湾	170,264	+100.7%	35,174	205,438	+89.0%	1,422,742	+27.8%	2,923	12.8%	+141.5%	
香港	212,152	+54.0%	21,741	233,893	+52.8%	698,215	+12.0%	1,633	7.1%	+71.2%	
中国	257,372	+40.5%	19,606	276,978	+34.3%	1,528,397	-15.9%	4,233	18.5%	+12.9%	
タイ	196,004	+88.0%	14,530	210,535	+73.1%	395,770	-12.0%	833	3.6%	+52.3%	
シンガポール	267,813	+50.7%	11,952	279,766	+51.4%	299,135	+44.5%	837	3.7%	+118.8%	
マレーシア	183,249	+65.1%	45,298	228,548	+73.2%	187,822	-1.7%	429	1.9%	+70.2%	
インドネシア	193,098	+61.1%	15,799	208,897	+59.9%	166,064	+27.6%	347	1.5%	+104.1%	
フィリピン	172,582	+71.9%	21,642	194,224	+75.4%	273,273	+29.9%	531	2.3%	+127.9%	
ベトナム	169,131	+8.5%	40,364	209,495	+11.7%	141,058	+18.8%	296	1.3%	+32.7%	
インド	219,208	+40.3%	22,789	241,997	+40.2%	61,812	+53.6%	150	0.7%	+115.4%	
英国	349,996	+36.1%	54,191	404,187	+23.5%	117,700	-10.1%	476	2.1%	+11.0%	
ドイツ	343,548	+78.8%	27,424	370,972	+63.0%	84,131	+42.9%	312	1.4%	+133.0%	
フランス	304,789	+47.4%	50,726	355,515	+38.0%	101,120	+20.5%	359	1.6%	+66.3%	
イタリア	258,019	+48.1%	80,580	338,599	+62.0%	60,932	+59.8%	206	0.9%	+158.9%	
スペイン	322,083	+63.8%	46,803	368,886	+46.0%	52,647	+67.2%	194	0.8%	+144.2%	
ロシア	266,102	+44.1%	25,518	291,621	+30.1%	34,296	-4.9%	100	0.4%	+23.8%	
米国	325,599	+81.7%	25,357	350,956	+76.6%	761,516	+72.5%	2,673	11.7%	+204.7%	
カナダ	314,247	+72.7%	22,636	336,883	+67.7%	160,649	+55.1%	541	2.4%	+160.1%	
オーストラリア	334,781	+49.9%	59,104	393,886	+38.8%	281,672	+65.6%	1,109	4.8%	+129.9%	
その他	356,615	+51.0%	31,610	388,225	+40.9%	538,869	+43.6%	2,092	9.1%	+102.3%	

注1) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者(参加費0円)も含めた全体平均の値である。
注2) 訪日外客数(日本政府観光局、暫定値)からクルーズ客数を控除した値。

(5) 費目別にみる旅行支出

- 一般客の費目別旅行支出（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」は英国（19.0 万円）、「飲食費」「娯楽等サービス費」はオーストラリア（8.5 万円、2.9 万円）が、「交通費」はイタリア（5.8 万円）が、「買物代」は中国（12.1 万円）が最も高い（図表 2-7）。

図表 2-7 費目別にみる一般客1人当たり旅行支出（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行支出】 (円/人)						
	旅行支出 総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	235,565	82,847	49,169	25,708	10,304	67,510	28
韓国	111,181	37,764	29,032	9,787	6,156	28,443	0
台湾	205,438	57,688	39,950	21,273	9,257	77,270	0
香港	233,893	76,504	53,223	21,419	6,227	76,164	357
中国	276,978	73,515	48,130	21,366	13,040	120,928	0
タイ	210,535	66,570	43,943	24,057	5,197	70,768	0
シンガポール	279,766	109,095	63,419	27,719	6,627	72,907	0
マレーシア	228,548	79,299	46,675	27,940	12,428	62,205	0
インドネシア	208,897	72,123	41,179	26,376	6,742	62,478	0
フィリピン	194,224	61,841	37,647	18,991	7,544	68,200	0
ベトナム	209,495	68,842	46,105	23,109	6,393	65,045	0
インド	241,997	105,722	44,648	36,963	12,112	42,551	0
英国	404,187	190,045	81,685	54,797	21,463	56,196	0
ドイツ	370,972	178,399	80,928	54,363	10,969	46,313	0
フランス	355,515	152,696	77,856	55,411	15,911	53,641	0
イタリア	338,599	141,605	78,126	58,061	16,364	44,444	0
スペイン	368,886	155,130	78,148	58,005	18,871	58,731	0
ロシア	291,621	109,378	66,037	41,462	8,671	66,073	0
米国	350,956	151,904	70,687	44,407	16,787	67,171	0
カナダ	336,883	140,144	77,162	50,129	15,442	54,006	0
オーストラリア	393,886	172,937	84,891	47,316	28,640	60,102	0
その他	388,225	165,281	83,257	57,301	11,738	70,612	36

- 一般客の費目別旅行消費額（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」「交通費」は米国（それぞれ 1,157 億円、338 億円）が、「飲食費」「娯楽等サービス費」「買物代」は中国（それぞれ 736 億円、199 億円、1,848 億円）が最も高くなっている。（図表 2-8）。

- 旅行消費額の費目別構成比をみると、インド、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、米国、カナダ、オーストラリアでは「宿泊費」の割合が 4 割超と高い傾向がみられる。

また、中国では「買物代」の割合が 4 割超であり、他の国籍・地域と比べて高い。

図表 2-8 費目別にみる一般客の旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行消費額】							【費目別旅行消費額 構成比】(ヨコ計100%)						
	消費額 総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他	
全国籍・地域	22,883	8,048	4,776	2,497	1,001	6,558	3	35.2%	20.9%	10.9%	4.4%	28.7%	0.0%	
韓国	2,609	886	681	230	144	667	0	34.0%	26.1%	8.8%	5.5%	25.6%	0.0%	
台湾	2,923	821	568	303	132	1,099	0	28.1%	19.4%	10.4%	4.5%	37.6%	0.0%	
香港	1,633	534	372	150	43	532	2	32.7%	22.8%	9.2%	2.7%	32.6%	0.2%	
中国	4,233	1,124	736	327	199	1,848	0	26.5%	17.4%	7.7%	4.7%	43.7%	0.0%	
タイ	833	263	174	95	21	280	0	31.6%	20.9%	11.4%	2.5%	33.6%	0.0%	
シンガポール	837	326	190	83	20	218	0	39.0%	22.7%	9.9%	2.4%	26.1%	0.0%	
マレーシア	429	149	88	52	23	117	0	34.7%	20.4%	12.2%	5.4%	27.2%	0.0%	
インドネシア	347	120	68	44	11	104	0	34.5%	19.7%	12.6%	3.2%	29.9%	0.0%	
フィリピン	531	169	103	52	21	186	0	31.8%	19.4%	9.8%	3.9%	35.1%	0.0%	
ベトナム	296	97	65	33	9	92	0	32.9%	22.0%	11.0%	3.1%	31.0%	0.0%	
インド	150	65	28	23	7	26	0	43.7%	18.4%	15.3%	5.0%	17.6%	0.0%	
英国	476	224	96	64	25	66	0	47.0%	20.2%	13.6%	5.3%	13.9%	0.0%	
ドイツ	312	150	68	46	9	39	0	48.1%	21.8%	14.7%	3.0%	12.5%	0.0%	
フランス	359	154	79	56	16	54	0	43.0%	21.9%	15.6%	4.5%	15.1%	0.0%	
イタリア	206	86	48	35	10	27	0	41.8%	23.1%	17.1%	4.8%	13.1%	0.0%	
スペイン	194	82	41	31	10	31	0	42.1%	21.2%	15.7%	5.1%	15.9%	0.0%	
ロシア	100	38	23	14	3	23	0	37.5%	22.6%	14.2%	3.0%	22.7%	0.0%	
米国	2,673	1,157	538	338	128	512	0	43.3%	20.1%	12.7%	4.8%	19.1%	0.0%	
カナダ	541	225	124	81	25	87	0	41.6%	22.9%	14.9%	4.6%	16.0%	0.0%	
オーストラリア	1,109	487	239	133	81	169	0	43.9%	21.6%	12.0%	7.3%	15.3%	0.0%	
その他	2,092	891	449	309	63	381	0	42.6%	21.4%	14.8%	3.0%	18.2%	0.0%	

(6) 来訪目的別にみる旅行支出

- 来訪目的別に一般客の旅行支出（パッケージ内訳を含む）をみると、「観光・レジャー」は1人当たり平均234,069円、「業務」は同257,033円、「その他」は同227,396円となっている（図表2-9）。

図表 2-9 来訪目的別にみる一般客1人当たり旅行支出（主要国籍・地域別）

主な来訪目的		観光・レジャー 注1	業務 注1	その他 注2	MICE関連 注3 (再掲)
旅行支出 (円/人)	全国籍・地域	234,069	257,033	227,396	220,034
	韓国	104,259	144,059	160,280	126,835
	台湾	200,234	372,103	193,738	154,928
	香港	235,232	280,347	169,815	212,841
	中国	269,490	283,177	333,076	291,625
	米国	365,396	374,984	232,535	288,487
【参考】					
一般客 目的別 構成比 (%) ※合計=100	全国籍・地域	84.4	8.6	7.0	5.4
	韓国	85.2	8.5	6.3	6.1
	台湾	94.6	3.1	2.3	1.8
	香港	94.3	2.2	3.5	2.2
	中国	79.3	11.3	9.3	6.8
	米国	79.4	9.1	11.5	3.9
回答数 注4 (人)	全国籍・地域	6,750	904	714	551
	韓国	736	92	54	64
	台湾	662	23	17	13
	香港	684	15	24	14
	中国	890	135	104	79
	米国	1,009	119	149	52

注1)「業務」は、主な来訪目的が「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」「その他ビジネス」の回答の集計結果である。
注2)「その他」は、主な来訪目的が「親族・知人訪問」「ハネムーン」「学校関連の旅行」「スポーツ・スポーツ観戦」「イベント」「留学」「治療・検診」「インセンティブツアー」「トランジット」「その他」の回答の集計結果である。
注3)「MICE関連」は、主な来訪目的が「イベント」「インセンティブツアー」「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」の回答の集計結果である。
注4) 回答数の少ない数値については取り扱いに留意されたい。

(7) クルーズ客の旅行中支出

- クルーズ客の旅行中支出は1人当たり平均31,109円であった（図表2-10）。
- 費目別にみると、「買物代」が1人当たり平均28,174円、「飲食費」が同1,551円などとなっている（図表2-11）。
- クルーズ客の旅行消費額は86億円と推計される。費目別では、「買物代」が77億円、「飲食費」が4億円などとなっている（図表2-12）。

図表 2-10 クルーズ客1人当たり旅行中支出と旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	(円/人)	(人)	(億円)	
	a.	b.	c.	
	旅行中支出	クルーズ客数	旅行消費額 (=a×b)	
		注1	2019年比	
全国籍・地域	31,109	275,060	-38.3%	86
台湾	20,884	35,684	-12.2%	7
香港	17,467	13,227	-	2
中国	34,078	205,154	-45.2%	70
その他注2	28,074	20,995	-	6

注1) 船舶観光上陸許可を受けて日本に特例上陸した外国人の人数(法務省「出入国管理統計」)
注2) 国籍・地域毎で標本サイズが不十分な場合は「その他」国籍に統合している。

図表 2-11 クルーズ客1人当たり費目別旅行中支出（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行中支出】						
	総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	31,109	0	1,551	768	614	28,174	2
台湾	20,884	0	3,385	2,353	635	14,511	0
香港	17,467	0	4,443	1,414	29	11,581	0
中国	34,078	0	1,020	436	634	31,985	3
その他	28,074	0	1,805	913	751	24,604	1

図表 2-12 クルーズ客費目別旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行消費額】						
	総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	86	0	4	2	2	77	0
台湾	7	0	1	1	0	5	0
香港	2	0	1	0	0	2	0
中国	70	0	2	1	1	66	0
その他	6	0	0	0	0	5	0

3. 土産品の購入実態

(1) 費目別購入率

- 費目別の購入率（その費目を購入した人の割合）は「菓子類」（73.3%）、「衣類」（45.2%）、「その他食料品・飲料・たばこ」（45.1%）の順で高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別で最も購入率が高い費目は、韓国、台湾、香港、中国で「菓子類」（それぞれ 83.4%、86.1%、73.1%、78.0%）、米国で「衣類」（55.7%）となっている。

(2) 費目別購入者単価

- 費目別の購入者単価（その費目を購入した人における当該費目の 1 人当たり平均支出）は、「時計・フィルムカメラ」が 10.8 万円で最も高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別では、韓国、中国における「時計・フィルムカメラ」（それぞれ 13.5 万円、34.0 万円）、台湾、香港、中国における「宝石・貴金属」（それぞれ 11.0 万円、12.5 万円、18.3 万円）が他の国籍・地域に比べ高い。

図表 3-1 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、全目的）

国籍・地域		全 国 籍 ・ 地 域		韓 国		台 湾		香 港		中 国		米 国	
費 目	購 入 率	購 入 者 単 価 (円)	購 入 率	購 入 者 単 価 (円)	購 入 率	購 入 者 単 価 (円)	購 入 率	購 入 者 単 価 (円)	購 入 率	購 入 者 単 価 (円)	購 入 率	購 入 者 単 価 (円)	
菓子類	73.3%	12,251	83.4%	6,816	86.1%	16,621	73.1%	13,689	78.0%	13,362	51.6%	13,227	
酒類	23.8%	11,588	38.0%	10,086	18.4%	8,261	11.1%	11,404	15.0%	19,720	30.6%	13,399	
生鮮農産物	5.1%	8,819	2.5%	6,192	12.8%	9,841	8.7%	5,387	4.2%	4,430	3.1%	15,446	
その他食料品・飲料・たばこ	45.1%	11,257	46.7%	5,362	45.8%	8,703	36.1%	10,750	36.4%	12,112	54.4%	16,616	
化粧品・香水	32.2%	25,516	20.4%	7,971	36.5%	22,684	38.4%	23,961	52.3%	44,602	22.0%	17,579	
医薬品	27.3%	14,394	35.6%	6,907	49.6%	19,245	34.0%	15,745	36.6%	21,140	6.4%	9,792	
健康グッズ・トイレタリー	13.1%	20,545	6.2%	16,755	33.2%	19,586	16.7%	19,624	20.1%	28,607	6.5%	20,718	
衣類	45.2%	28,182	28.1%	20,270	49.0%	27,054	54.1%	32,379	40.5%	45,597	55.7%	29,247	
靴・かばん・革製品	24.6%	47,472	12.1%	22,129	28.2%	44,719	33.7%	55,671	24.1%	103,944	21.7%	37,531	
電気製品	5.2%	35,597	1.3%	37,537	7.9%	21,320	3.0%	34,130	6.7%	50,389	5.6%	22,863	
時計・フィルムカメラ	2.3%	108,058	0.4%	135,352	0.5%	48,386	0.8%	61,713	2.8%	340,493	3.1%	58,676	
宝石・貴金属	1.9%	83,187	0.5%	39,027	0.7%	110,349	0.9%	125,033	2.1%	182,854	4.8%	37,178	
民芸品・伝統工芸品	9.2%	13,861	4.5%	6,158	6.4%	15,242	3.3%	12,397	5.6%	15,017	22.9%	15,483	
本・雑誌・ガイドブックなど	4.9%	7,421	2.8%	4,097	3.0%	11,881	3.2%	7,947	2.5%	6,774	12.3%	8,645	
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	3.7%	23,146	2.8%	11,326	1.9%	29,744	3.4%	29,284	2.9%	41,420	7.6%	20,076	
その他買物代	9.9%	25,256	8.4%	10,719	7.9%	17,302	9.1%	23,778	10.6%	34,835	16.7%	32,547	

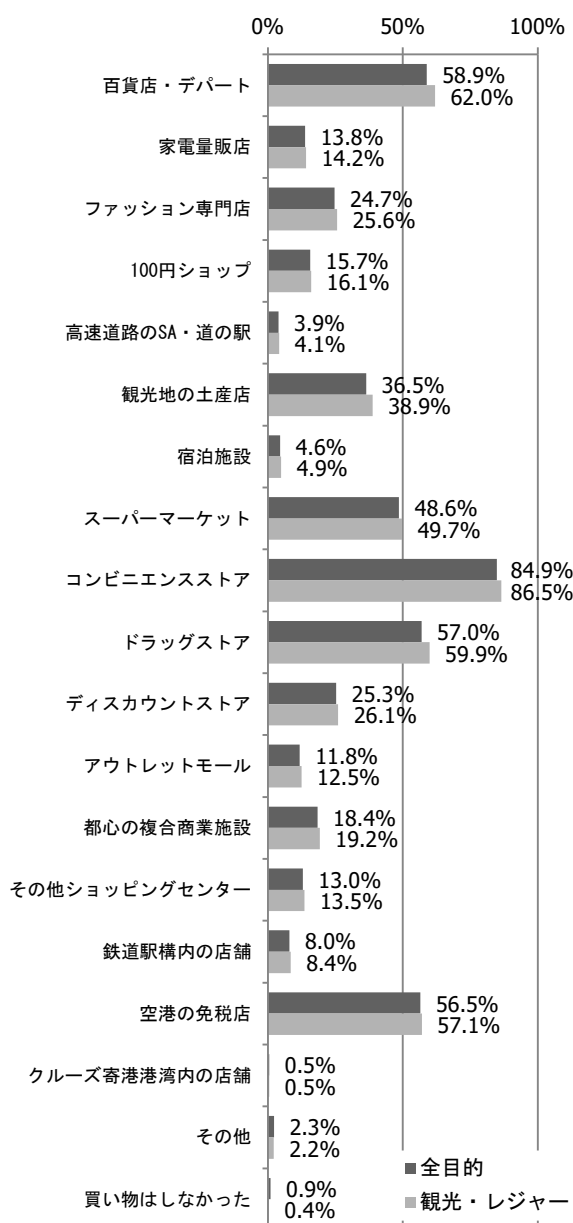
図表 3-2 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、観光・レジャー目的）

国籍・地域		全国籍・地域		韓 国		台 湾		香 港		中 国		米 国	
費目	購入率	購入者 単価 (円)	購入率	購入者 単価 (円)	購入率	購入者 単価 (円)	購入率	購入者 単価 (円)	購入率	購入者 単価 (円)	購入率	購入者 単価 (円)	
菓子類	74.6%	12,167	84.5%	6,626	86.6%	16,841	73.6%	13,361	78.2%	12,068	53.2%	13,747	
酒類	23.8%	11,040	38.2%	8,934	18.4%	7,845	11.2%	11,636	13.1%	19,797	31.4%	14,118	
生鮮農産物	5.3%	7,892	2.2%	3,526	13.0%	10,111	8.7%	4,971	4.3%	2,890	3.3%	17,355	
その他食料品・飲料・たばこ	45.4%	10,671	47.4%	5,188	45.6%	8,546	35.3%	10,985	35.8%	11,639	56.4%	15,832	
化粧品・香水	33.8%	24,303	22.1%	7,582	36.3%	22,038	39.3%	23,649	54.4%	41,896	24.7%	18,125	
医薬品	29.3%	13,712	38.0%	6,335	50.3%	18,999	34.1%	13,916	39.8%	20,343	7.2%	7,736	
健康グッズ・トイレタリー	14.0%	20,278	6.3%	17,462	33.9%	19,672	16.6%	19,621	20.7%	28,330	6.8%	16,918	
衣類	47.3%	28,028	30.1%	18,890	49.7%	26,431	54.5%	32,959	42.9%	46,754	60.4%	29,507	
靴・かばん・革製品	26.5%	43,023	13.9%	22,445	28.0%	45,022	34.8%	55,645	26.6%	82,683	23.3%	27,882	
電気製品	5.5%	34,073	1.3%	38,636	8.3%	21,320	3.2%	34,130	7.1%	52,770	5.8%	24,854	
時計・フィルムカメラ	2.4%	116,789	0.4%	135,352	0.6%	48,386	0.8%	61,713	2.9%	394,499	3.6%	62,569	
宝石・貴金属	2.1%	82,499	0.5%	39,027	0.7%	112,594	1.0%	125,033	2.5%	185,090	5.2%	21,741	
民芸品・伝統工芸品	9.7%	13,152	4.9%	6,401	6.6%	8,989	3.5%	12,397	6.5%	13,780	24.7%	15,801	
本・雑誌・ガイドブックなど	4.7%	7,811	2.3%	3,502	2.8%	12,741	3.2%	8,333	2.5%	7,202	13.1%	8,944	
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	3.7%	20,922	2.5%	11,643	1.8%	29,412	2.9%	34,820	3.3%	28,117	8.0%	21,114	
その他買物代	10.4%	24,204	8.9%	10,979	8.1%	17,355	8.3%	23,430	12.3%	29,084	17.8%	29,788	

（３）買物場所

- 買物場所は「コンビニエンスストア」(84.9%)、「百貨店・デパート」(58.9%)、「ドラッグストア」(57.0%)、「空港の免税店」(56.5%)、「スーパーマーケット」(48.6%)の順で高い(図表 3-3)。

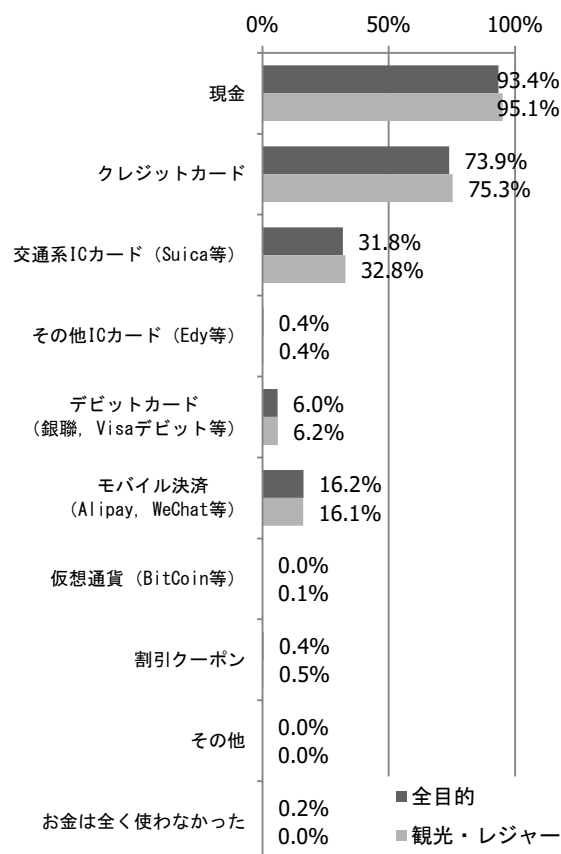
図表 3-3 買物場所
(全国籍・地域、複数回答)



（４）利用した決済方法

- 利用した決済方法は「現金」(93.4%)が最も高く、次いで「クレジットカード」(73.9%)、「交通系 IC カード」(31.8%)、「モバイル決済」(16.2%)、「デビットカード」(6.0%)の順で高くなっている(図表 3-4)。

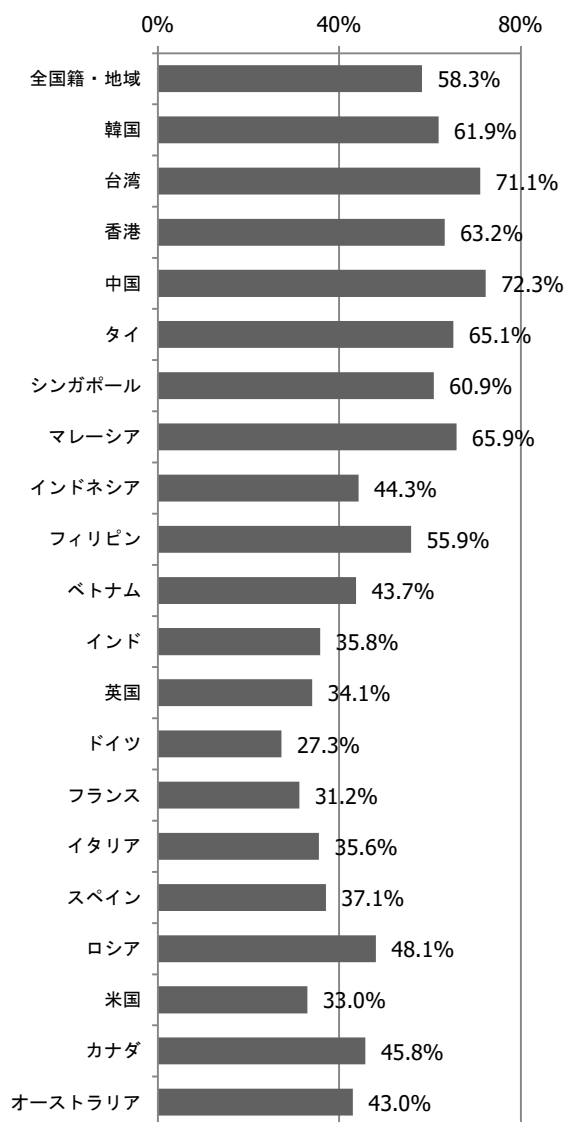
図表 3-4 利用した決済方法
(全国籍・地域、複数回答)



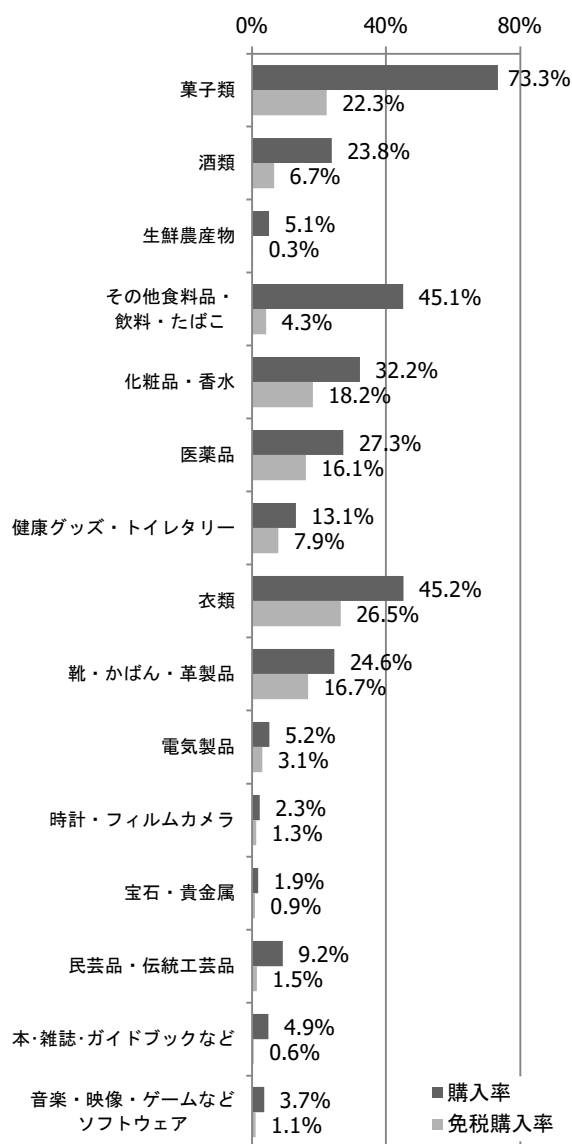
（５）消費税免税手続きの実施状況

- 今回の日本滞在中に消費税免税手続きを実施した人の割合は全体の 58.3%である（図表 3-5）。
- 国籍・地域別にみると、韓国、台湾、香港、中国、タイ、シンガポール、マレーシアでは 6 割超と他の国籍・地域に比べて高い。
- 買物代の費目別に、消費税免税手続きをして当該費目を購入した人の割合（費目別の免税購入率、分母は一般客全体）をみると、「衣類」（26.5%）が最も高く、「菓子類」（22.3%）、「化粧品・香水」（18.2%）、「靴・かばん・革製品」（16.7%）の順で高くなっている（図表 3-6）。

図表 3-5 消費税免税手続きの実施率
（国籍・地域別）



図表 3-6 費目別購入率と費目別の免税購入率
（全国籍・地域、複数回答）



4. 満足度と再訪意向

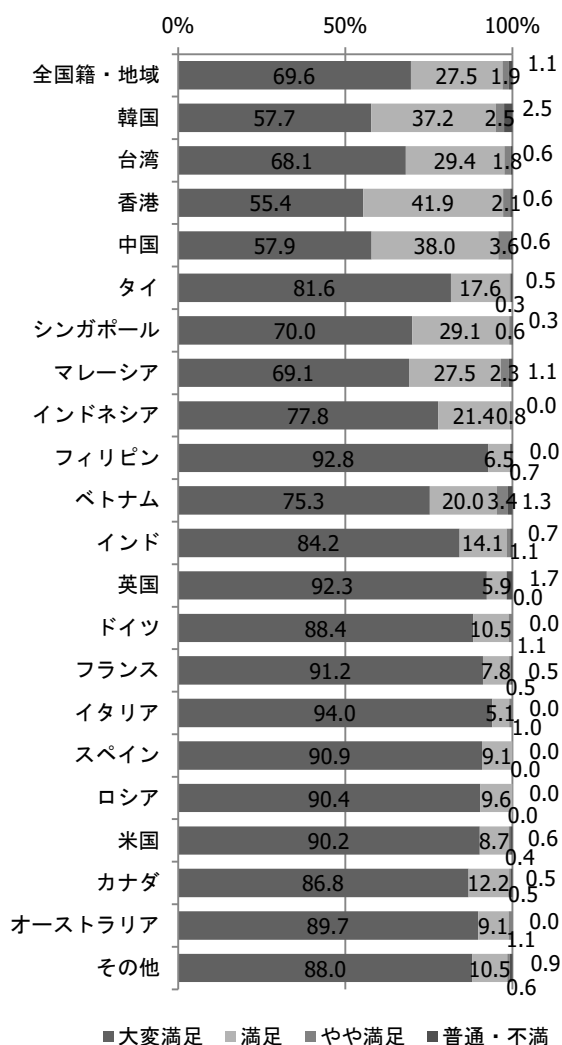
(1) 訪日旅行全体の満足度

- 今回の訪日旅行全体の満足度は「大変満足」が 69.6%、「満足」が 27.5%である（図表 4-1）。
- 国籍・地域別では、フィリピン、英国、フランス、イタリア、スペイン、ロシア、米国で「大変満足」の割合が 9 割超と高い。

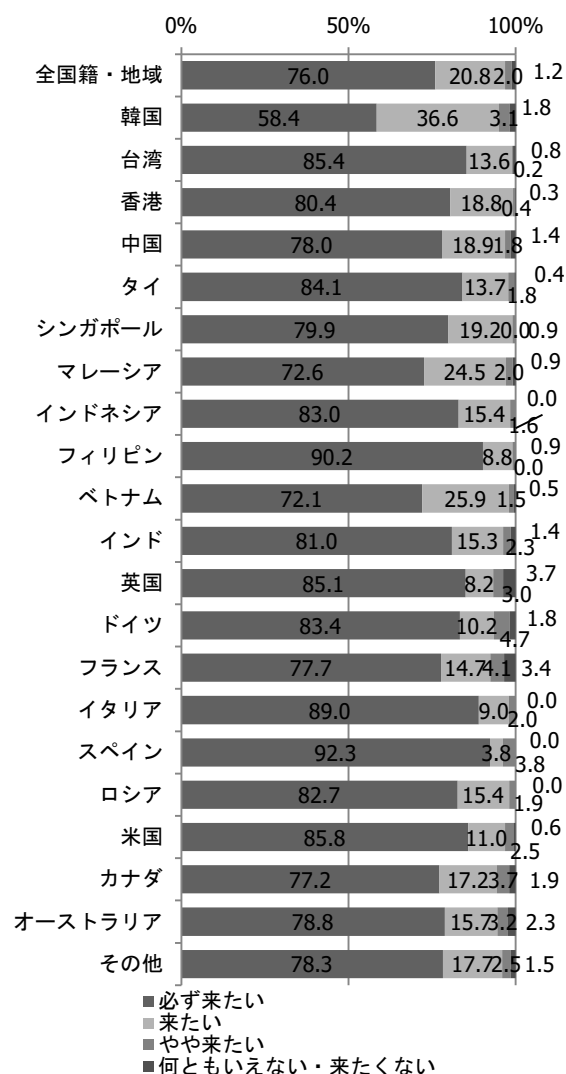
(2) 日本への再訪意向

- 日本への再訪意向では、「必ず来たい」が 76.0%、「来たい」が 20.8%である（図表 4-2）。
- 国籍・地域別では、台湾、香港、タイ、インドネシア、フィリピン、インド、英国、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、米国で「必ず来たい」の割合が 8 割超と高い。

図表 4-1 訪日旅行全体の満足度（国籍・地域別）



図表 4-2 日本への再訪意向（国籍・地域別）



(3) 最も満足した購入商品

- 最も満足した購入商品をみると、「菓子類」（20.0%）、「衣類」（18.5%）、「その他買い物代」（18.4%）の順で高い（図表 4-3）。
- 満足した理由をみると、「菓子類」では「美味しい」が多かった。「衣類」では「品質が良い」、「その他買い物代」では「デザインが良い・かわいい」とする回答が最も多かった。

図表 4-3 最も満足した購入商品とその理由
（全国籍・地域）

															(%)
商品区分	【最も満足した購入商品】 （自由記入による単一回答）	【満足した理由】（複数回答）													その他
		美味しい	品質が良い	自国で入手が難しい	価格が手頃・自国より安い	日本製	伝統的・日本独特	好きなブランド・商品である	デザインが良い・かわいい	人気がある・有名	お土産に良い・頼まれた	便利だから			
菓子類	20.0	81.0	30.0	14.6	9.9	20.2	8.0	9.7	7.6	17.9	29.5	1.6	0.1		
酒類	4.9	57.2	32.1	27.0	33.7	28.9	14.1	13.4	3.8	18.9	22.3	0.6	0.2		
生鮮農産物	0.6	93.4	56.1	21.0	24.8	29.3	9.9	3.7	5.5	10.8	3.9	0.8	0.0		
その他食料品・飲料・たばこ	6.8	76.4	41.9	19.8	22.9	27.3	18.3	8.8	5.4	12.0	13.6	6.2	0.1		
化粧品・香水	8.3	0.0	59.1	12.9	37.3	35.8	3.5	35.2	7.2	15.7	10.3	1.9	0.1		
医薬品	5.1	0.0	70.4	21.2	23.3	37.6	2.4	6.2	1.2	17.0	13.6	2.2	0.0		
健康グッズ・トイレタリー	0.5	0.0	57.1	11.8	24.6	15.9	4.1	10.4	11.3	8.6	17.0	15.7	0.0		
衣類	18.5	0.0	55.3	15.6	44.2	19.2	6.3	25.3	46.9	10.3	4.5	3.0	0.3		
靴・かばん・革製品	10.2	0.0	52.1	12.0	44.7	18.5	3.9	34.7	40.7	13.7	3.0	3.9	0.1		
電気製品	2.1	0.0	50.4	10.5	43.4	28.5	1.5	25.9	11.6	8.5	1.6	8.2	1.1		
時計・フィルムカメラ	0.9	0.0	56.2	16.0	42.3	45.6	5.8	34.6	35.7	10.9	2.0	0.7	0.0		
宝石・貴金属	0.1	0.0	69.7	8.4	22.7	80.3	9.6	24.1	52.6	3.5	5.0	0.0	0.0		
民芸品・伝統工芸品	2.3	0.0	33.2	24.1	11.6	52.7	57.6	5.9	50.4	10.6	20.3	0.3	0.0		
本・雑誌・ガイドブックなど	0.8	0.0	13.5	34.5	22.5	25.4	19.6	15.9	32.4	13.1	22.9	3.0	1.0		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.5	0.0	19.1	49.8	31.6	26.1	11.7	47.6	10.2	15.0	6.8	0.0	0.0		
その他買物代	18.4	0.0	33.9	26.8	21.9	29.0	13.3	28.3	49.9	18.1	13.8	2.4	0.4		
その他	0.1	0.0	17.7	11.5	5.6	5.5	25.9	13.1	7.5	7.4	5.3	52.6	3.5		
全体	100.0	24.7	43.9	18.4	28.4	25.9	9.7	21.3	26.9	14.9	14.0	2.8	0.2		

(4) 最も満足した飲食

- 最も満足した飲食をみると、「肉料理」（32.5%）、「ラーメン」（18.8%）、「寿司」（13.6%）の順で高い（図表 4-4）。
- 満足した理由をみると、全体的に「美味しい」が高く、「肉料理」では「好きな料理・食品である」、「ラーメン」では「人気がある・有名」、「寿司」では「食材が新鮮」の選択率が「全体」と比べて高くなった。

図表 4-4 最も満足した飲食とその理由
（全国籍・地域）

														(%)	
飲食区分	【最も満足した飲食】 （自由記入による単一回答）	【満足した理由】（複数回答）													
		美味しい	食材が新鮮	自国で味わうことができない	価格が手頃・自国より安い	量や種類が適切	伝統的・日本独特	好きな料理・食品である	盛り付けの見た目が良い	人気がある・有名	健康に良い	店のサービスや雰囲気	その他		
寿司	13.6	92.7	69.9	12.6	20.6	8.5	22.4	18.8	7.3	11.5	10.6	10.4	0.1		
ラーメン	18.8	95.8	29.9	18.1	19.4	9.3	19.4	18.0	4.6	16.0	3.2	9.7	0.2		
そば・うどん	4.4	96.8	31.3	22.0	20.5	14.0	28.6	16.8	5.5	10.8	12.2	11.8	0.0		
肉料理	32.5	95.6	46.3	17.8	19.6	8.9	15.9	19.9	4.3	12.6	2.4	11.9	0.1		
魚料理	10.5	92.3	64.8	17.3	17.1	6.2	19.3	22.0	6.1	9.6	6.4	8.8	0.0		
小麦粉料理	3.3	95.8	35.6	33.6	23.6	9.3	37.4	16.0	7.0	15.8	3.5	15.5	0.5		
その他日本料理	5.9	91.8	44.1	26.2	18.6	10.8	32.7	16.9	11.7	7.2	6.6	10.3	0.3		
外国の料理	0.6	96.6	26.6	13.1	10.4	8.0	4.5	27.0	8.5	8.8	3.7	12.8	1.8		
その他料理	5.5	95.2	34.7	21.8	21.0	10.9	21.6	15.6	8.1	7.8	4.7	11.1	0.4		
菓子類	2.1	93.5	25.9	24.9	16.1	6.2	19.0	16.0	5.9	12.4	3.3	4.5	0.0		
果物	0.4	95.2	63.7	24.8	25.3	9.9	20.1	13.2	0.0	11.5	13.4	3.2	0.0		
酒	1.0	88.3	21.6	29.7	25.3	10.9	34.4	10.8	1.5	15.6	0.0	6.0	0.0		
その他食料品・飲料	1.5	90.4	29.7	28.0	18.4	12.3	21.8	9.7	3.8	11.8	16.5	1.4	1.1		
全体	100.0	94.5	45.6	18.9	19.6	9.1	20.7	18.6	5.7	12.2	5.2	10.5	0.2		

5. 旅行情報と旅行情報源

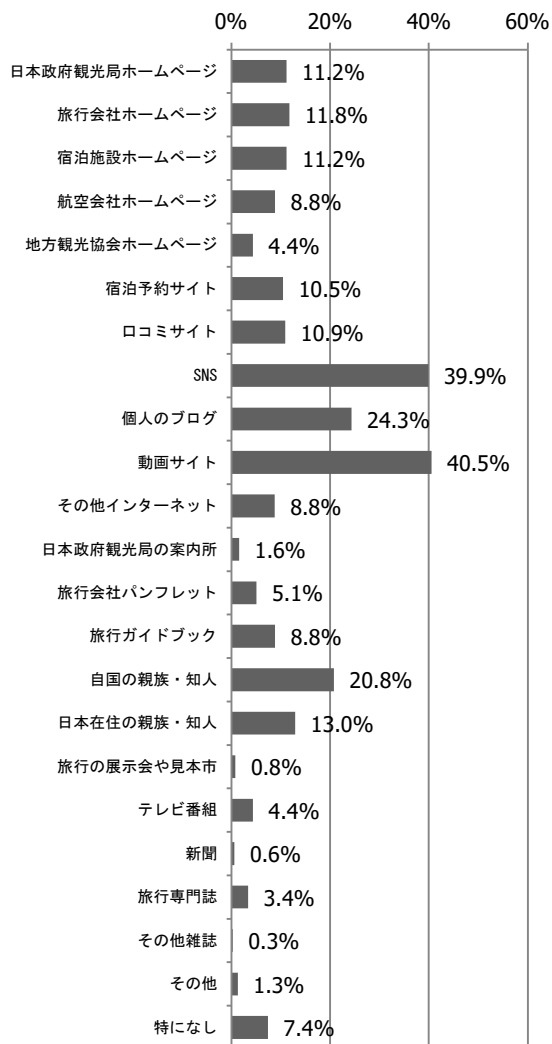
(1) 出発前に役に立った旅行情報源

- 出発前に役に立った旅行情報源では、「動画サイト」(40.5%)、「SNS」(39.9%)、「個人のブログ」(24.3%)の順で多い(図表 5-1)。
- 「日本政府観光局ホームページ」の選択率は11.2%、「日本政府観光局の案内所」の選択率は1.6%であった。

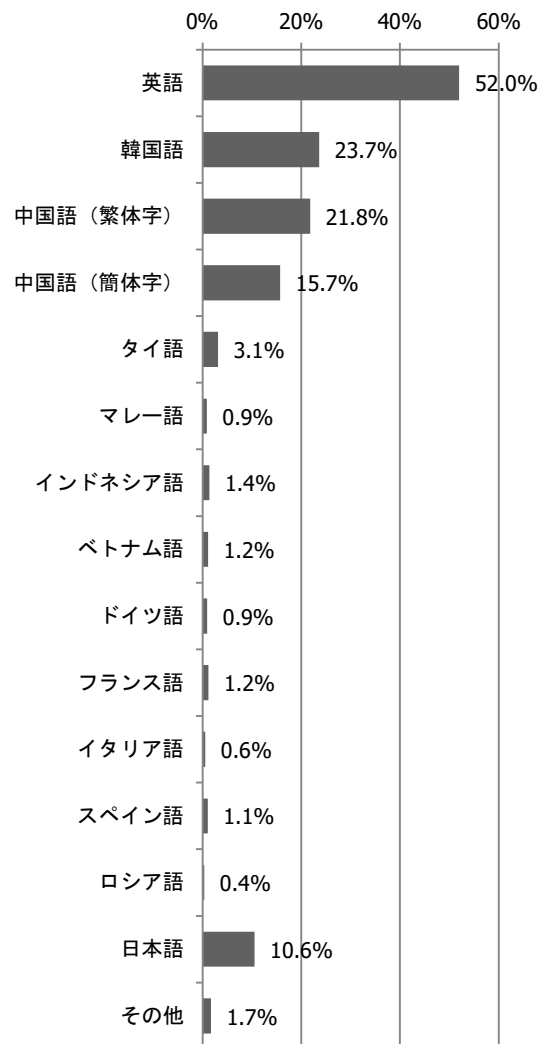
(2) 出発前に旅行情報を得た言語

- 出発前に役に立った旅行情報源の言語では、「英語」が52.0%と最も多い。次いで「韓国語」(23.7%)、「中国語(繁体字)」(21.8%)、「中国語(簡体字)」(15.7%)、「日本語」(10.6%)の順で多い(図表 5-2)。

図表 5-1 出発前に役に立った旅行情報源
(全国籍・地域、複数回答)



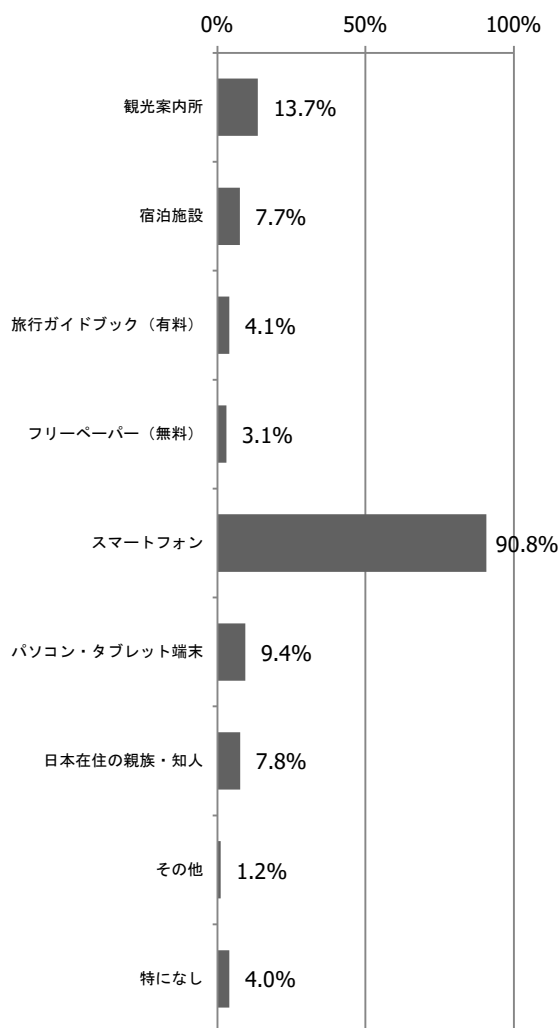
図表 5-2 出発前に役に立った旅行情報源の言語
(全国籍・地域、複数回答)



（３）日本滞在中に役に立った旅行情報源

- 日本滞在中に役に立った旅行情報源では、「スマートフォン」が90.8%と最も多い。次いで、「観光案内所」(13.7%)、「観光案内所」(13.7%)、「パソコン・タブレット端末」(9.4%)、「日本在住の親族・知人」(7.8%)、「宿泊施設」(7.7%)の順で多い（図表5-3）。

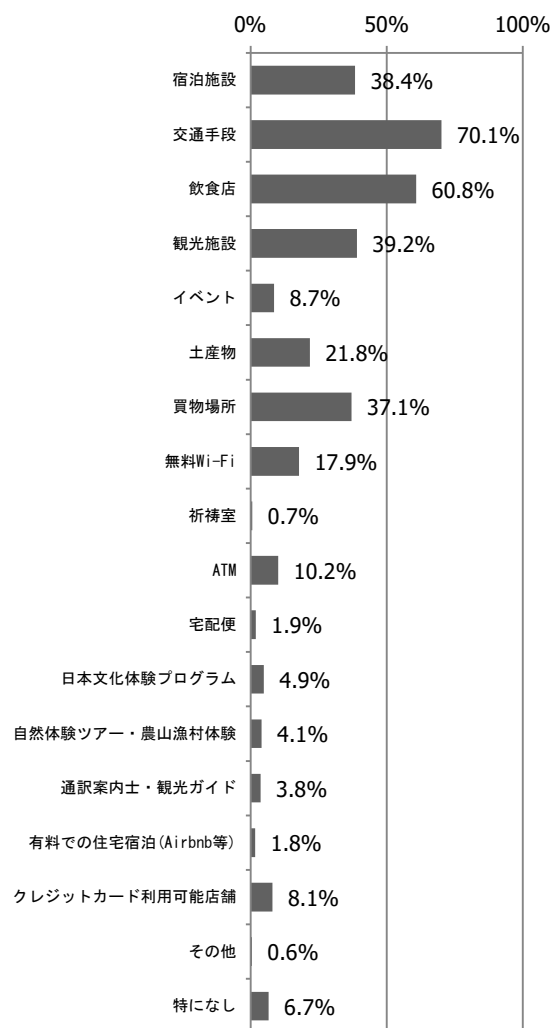
図表 5-3 日本滞在中に役に立った旅行情報源
(全国籍・地域、複数回答)



（４）日本滞在中に役に立った旅行情報

日本滞在中に役に立った旅行情報では、「交通手段」が70.1%と最も多い。次いで「飲食店」(60.8%)、「観光施設」(39.2%)、「宿泊施設」(38.4%)、「買物場所」(37.1%)、「土産物」(21.8%)の順で多い（図表5-4）。

図表 5-4 日本滞在中に役に立った旅行情報
(全国籍・地域、複数回答)

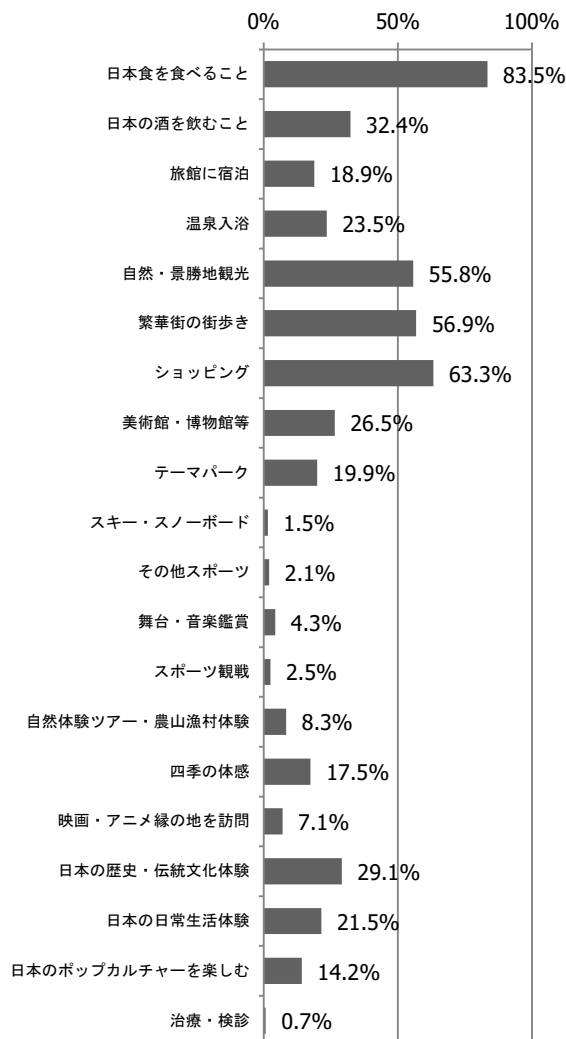


6. 日本滞在中の行動

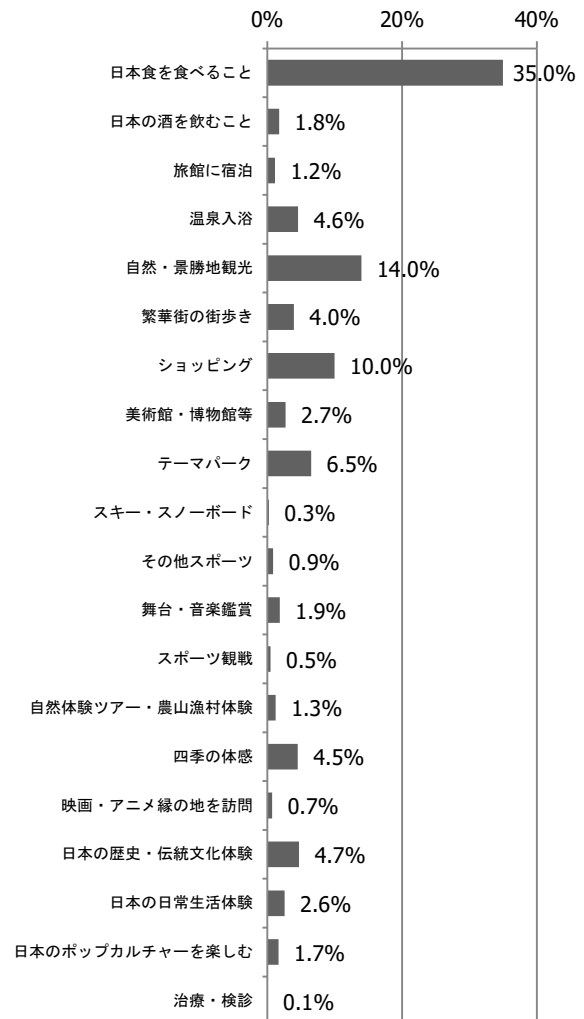
(1) 訪日前に期待していたこと

- 訪日前に期待していたことを複数回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」が 83.5%と最も多かった。次いで「ショッピング」(63.3%)、「繁華街の街歩き」(56.9%)、「自然・景勝地観光」(55.8%)の順で多い(図表 6-1)。
- 訪日前に最も期待していたことを単一回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」(35.0%)、「自然・景勝地観光」(14.0%)、「ショッピング」(10.0%)、「テーマパーク」(6.5%)の順で多い(図表 6-2)。

図表 6-1 訪日前に期待していたこと
(全国籍・地域、複数回答)



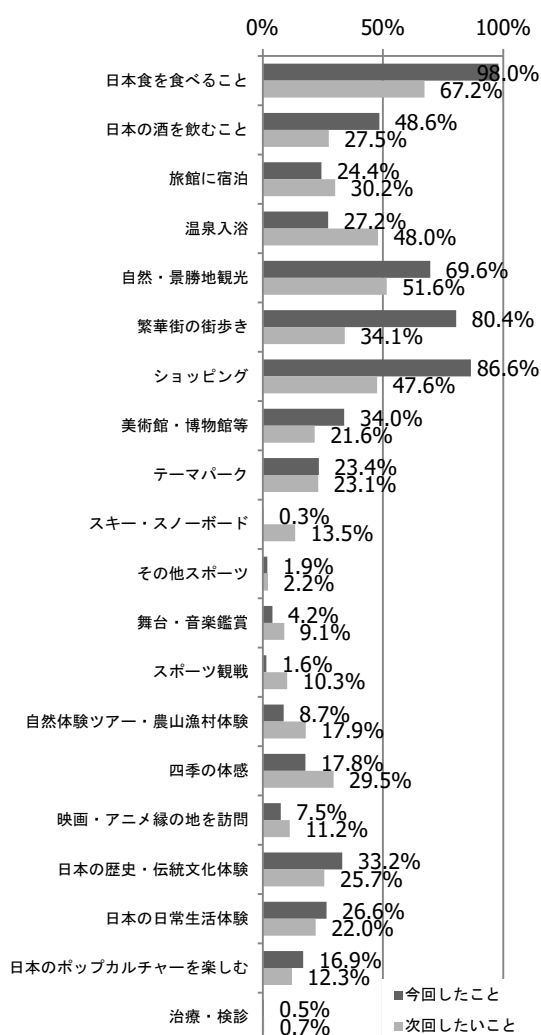
図表 6-2 訪日前に最も期待していたこと
(全国籍・地域、単一回答)



（２）今回したことと次回したいこと

- 今回の日本滞在中にしたことでは、「日本食を食べること」（98.0%）、「ショッピング」（86.6%）、「繁華街の街歩き」（80.4%）の順で選択率が高い（図表 6-3）。
- 次回日本を訪れた時にしたいことでは、「日本食を食べること」（67.2%）、「自然・景勝地観光」（51.6%）、「温泉入浴」（48.0%）の順で選択率が高い（図表 6-3）。

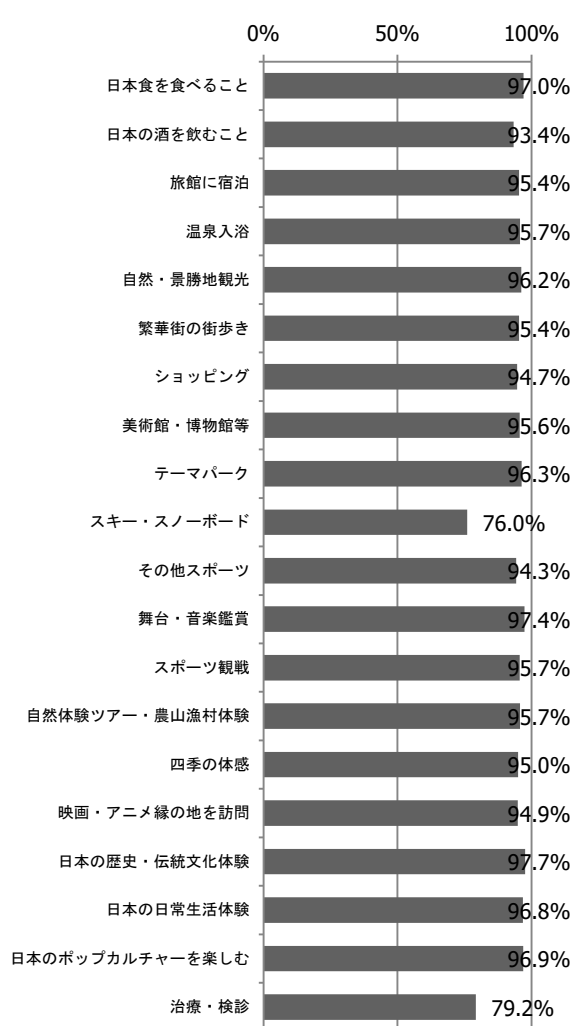
図表 6-3 今回したことと次回したいこと
（全国籍・地域、複数回答）



（３）今回したことの満足度

- 今回の日本滞在中にしたことの満足度を尋ねた結果、「満足した」と回答した人の割合は「日本の歴史・伝統文化体験」（97.7%）、「舞台・音楽鑑賞」（97.4%）、「日本食を食べること」（97.0%）、「日本のポップカルチャーを楽しむ」（96.9%）、「日本の日常生活体験」（96.8%）の順で多い（図表 6-4）。

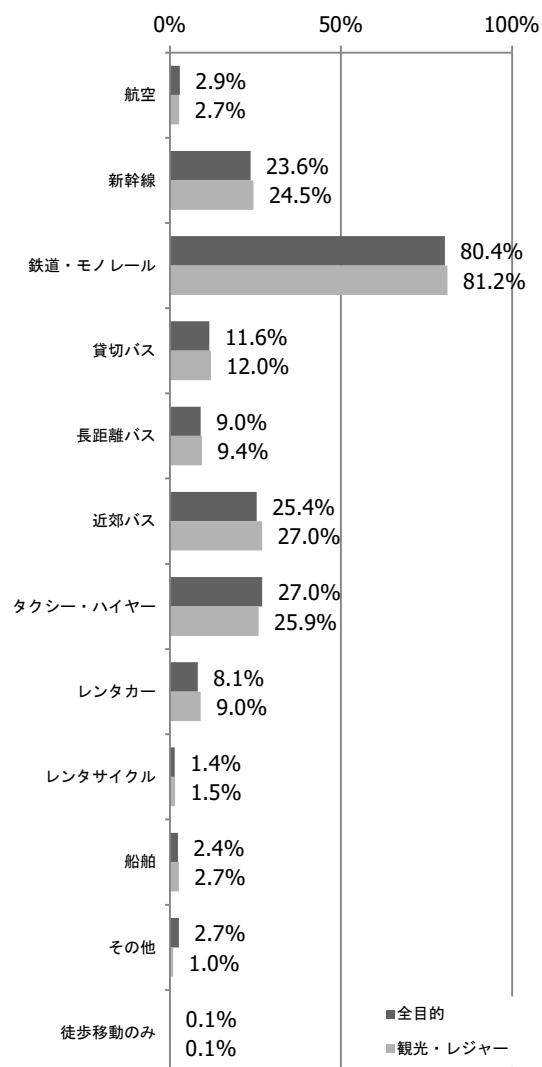
図表 6-4 今回した人のうち満足した人の割合
（全国籍・地域、複数回答）



（４）利用した交通手段

- 利用した交通手段は「鉄道・モノレール」
（80.4%）が最も多く、次いで「タクシー・ハイヤー」（27.0%）、「近郊バス」（25.4%）、「新幹線」（23.6%）、「貸切バス」（11.6%）の順で多い（図表 6-5）。

図表 6-5 利用した交通手段
（全国籍・地域、複数回答）



Ⅱ インバウンド消費動向調査(旧 訪日外国人消費動向調査)について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

個々の外国人の消費動向データの利用を目的とし、訪日外国人旅行者個人の消費動向等をきめ細かく把握・分析し、観光政策における EBPM 強化や戦略的な施策立案等に活用する。

本調査では、目的に応じて以下に示す3つの調査を四半期毎に実施している。

A 1 全国調査

国籍・地域毎の旅行者の詳細な消費データの収集。

B 1 地域調査

都道府県毎の旅行者の消費データの収集。

B 2 クルーズ調査

クルーズ客(船舶観光上陸許可を得た訪日外国人)の消費データの収集。

(2) 調査の沿革

2010 年(平成 22 年)

4-6 月期より調査開始。

2014 年(平成 26 年)

高松空港を調査地点に追加。

インドネシア、フィリピン、ベトナムを調査対象に追加。

調査票の変更(ラウンジ利用や消費税免税手続きに係る設問の追加等)。

2015 年(平成 27 年)

函館空港、小松空港、富士山静岡空港、関門(下関)港、厳原港、鹿児島空港を調査地点に追加。

イタリア、スペインを調査対象に追加。

調査票の変更(申込方法や訪問地毎の支出金額、世帯年収に係る設問の追加等)。

2018 年(平成 30 年)

従来調査(A 1 全国調査)に加え、B 1 地域調査、B 2 クルーズ調査を新たに開始。青森空港、茨城空港、富山空港、岡山空港、米子空港、佐賀空港、宮崎空港、境港、長崎港、那覇港を調査地点に追加。

調査票の変更(訪日頻度に係る設問の追加、支出金額の費目細分化等)。

2019 年(平成 31 年、令和元年)

B 2 クルーズ調査において平良港、石垣港を調査地点に追加。

2020 年(令和 2 年)

調査票の変更(A 1 全国調査では意識調査に係る設問の追加。B 1 地域調査では日本への来訪回数や同行者に係る設問の追加と主な来訪目的に係る設問の選択肢変更等。B 2 クルーズ調査では専用の調査票を新設)。

2024 年(令和 6 年)

従来の訪日外国人消費動向調査(統計法に基づく一般統計調査)は 1-3 月期調査をもって中止し、個々の外国人の消費動向データの利用を目的とする調査として 4-6 月期より新たにインバウンド消費動向調査を開始。

(3) 調査の根拠法令

本調査は、観光立国推進基本法第 25 条に基づき実施した。

(4) 調査の対象

A 1 全国調査

日本国内の 17 空海港(※1)から出国する訪日外国人。

(※1) 新千歳空港、函館空港、仙台空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、小松空港、関西国際空港、広島空港、高松空港、福岡

空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港（下関）、博多港、厳原港

B 1 地域調査

日本国内の 25 空海港（※2）から出国する訪日外国人。

（※2）新千歳空港、函館空港、青森空港、仙台空港、茨城空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、富山空港、小松空港、関西国際空港、米子空港、岡山空港、広島空港、高松空港、福岡空港、佐賀空港、宮崎空港、鹿児島空港、那覇空港、境港、関門港（下関）、博多港、厳原港

B 2 クルーズ調査

博多港、長崎港、那覇港、平良港又は石垣港に寄港するクルーズ船のうち、同港が日本国内の最終寄港地であるクルーズ船に乗船する訪日外国人であって、出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）第 14 条の 2 に基づく船舶観光上陸の許可を得て同港に上陸した者。

ただし、A 1 全国調査、B 1 地域調査及び B 2 クルーズ調査いずれも以下の者を除く。

- 1) 日本に入国していないトランジット客
- 2) 乗員
- 3) 1 年以上の滞在者
- 4) 出入国管理及び難民認定法に基づく永住者、永住者の配偶者等及び定住者

（5）抽出方法

本調査は標本調査であるが、空海港の国際線ターミナル搭乗待合ロビーにおいて日本から出国する訪日外国人を対象とした聞き取り調査の手法を採用しており、有意抽出法に該当する。したがって、厳密には調査から得られた結果の性質を理論的に評価することはできない。しかし、調査結果を可能な限り母集団の持つ性質に近づけるため、無作為抽出法で一般に用いられる標本設計の手法を適用して標本サイズを決定している。

A 1 全国調査

A 1 全国調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数

（前年同期）のうち、調査地点である 17 空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の国籍・地域により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 1 地域調査

B 1 地域調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数

（前年同期）のうち、調査地点である 25 空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の出国港により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地と見込まれるクルーズ船を各調査港における調査対象の候補とする。調査対象候補となるクルーズ船を、次の寄港地（外国）の国・地域毎に層化した上で、予定寄港回数に基づく比例配分法によって調査対象便を抽出する。便毎の調査対象者数は均等割当とし、客層等の偏りを防ぐため 1 便当たりの回収数上限を 50 票と設定する。

（6）目標精度と標本サイズ

A 1 全国調査

国籍・地域毎の「1 人当たり旅行総支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表 1 のように定めた。

表 1 A 1 全国調査の目標精度

国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
韓国	3.0%	780	英国	7.0%	190
台湾	3.0%	610	ドイツ	7.0%	290
香港	3.0%	650	フランス	7.0%	140
中国	3.0%	1,000	イタリア	10.0%	80
タイ	5.0%	300	スペイン	10.0%	70
シンガポール	7.0%	140	ロシア	10.0%	110
マレーシア	7.0%	360	米国	3.0%	1,250
インドネシア	7.0%	220	カナダ	7.0%	220
フィリピン	7.0%	250	オーストラリア	5.0%	240
ベトナム	7.0%	350	その他	5.0%	320
インド	10.0%	260		合計	7,830

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2016 年（平成 28 年）調査結果を用いて導出した。その結果、A 1 全国調査の標本サイズは各四半期 7,830 票となった。なお、調査港（出国港）毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てる。

B 1 地域調査

訪問地（都道府県）毎の「1 人 1 日当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表 2 のように定めた。

表 2 B 1 地域調査の目標精度

都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
北海道	5.0%	420	三重県	20.0%	140
青森県	20.0%	50	滋賀県	20.0%	50
岩手県	20.0%	50	京都府	5.0%	740
宮城県	20.0%	50	大阪府	5.0%	780
秋田県	20.0%	50	兵庫県	5.0%	900
山形県	20.0%	50	奈良県	5.0%	3,160
福島県	20.0%	50	和歌山県	20.0%	80
茨城県	20.0%	80	鳥取県	20.0%	50
栃木県	10.0%	180	島根県	20.0%	50
群馬県	20.0%	50	岡山県	20.0%	60
埼玉県	20.0%	50	広島県	10.0%	170
千葉県	5.0%	4,890	山口県	20.0%	110
東京都	5.0%	1,140	徳島県	20.0%	50
神奈川県	5.0%	830	香川県	20.0%	50
新潟県	20.0%	50	愛媛県	20.0%	60
富山県	10.0%	290	高知県	20.0%	50
石川県	10.0%	210	福岡県	5.0%	530
福井県	20.0%	50	佐賀県	20.0%	70
山梨県	10.0%	600	長崎県	10.0%	120
長野県	10.0%	290	熊本県	10.0%	150
岐阜県	10.0%	200	大分県	10.0%	120
静岡県	10.0%	840	宮崎県	20.0%	50
愛知県	5.0%	950	鹿児島県	20.0%	50
			沖縄県	5.0%	400

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2019 年（平成 31 年／令和元年）調査の実績に基づいて導出した。各都道府県訪問者の出現率は出国港によって異なるため、標本サイズに出現率の逆数を乗じて調査港（出国港）毎の必要回収数を算出し、B 1 地域調査の標本サイズは各四半期 24,620 票となった。なお、訪日外国人の国籍・地域毎の標本配分は、前年同期

の外国人単純出国者数に比例して割り当てる。

B 2 クルーズ調査

調査港（国内最終寄港地）毎の「1 人当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表 3 のように定めた。

表 3 B 2 クルーズ調査の目標精度

最終寄港地 (3区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
博多港	5.0%	430
長崎港	5.0%	530
那覇・平良・石垣港	5.0%	430
総数		1,390

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2018 年（平成 30 年）1-6 月期調査の実績に基づいて導出した。その結果、B 2 クルーズ調査の標本サイズは各四半期 1,390 票となった。

(7) 調査事項

A 1 全国調査

入国日、入国した空海港、在留資格、国籍・地域、居住地、性別、年齢、同行者、日本への来訪回数、前回の来訪時期、過去 1 年間の来訪回数、主な来訪目的、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、旅行手配方法、ツアー料金又は往復航空（船舶）料金、申込方法、ツアー料金に含まれるサービス、日本滞在中の費目別支出、消費税免税手続き実施状況、世帯年収、その他意識調査

B 1 地域調査

国籍・地域、旅行手配方法、ツアー料金又は往復航空（船舶）料金、Japan Rail Pass の利用状況と料金、入国港、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、訪問地毎の費目別支出、利用した交通手段、買物場所、利用した決済方法、性別、年齢、在留資格、入国日、同行者、日本への来訪回数、主な来訪目的、その他意識調査

B 2 クルーズ調査

入国日、在留資格、国籍・地域、性別、年齢、同行者、日本への来訪回数、主な来訪目的、日本国内の寄港地における旅行手配方法、クルーズ船料金、買物費目、寄港地、寄港地毎の費目別支出

（８）調査の時期

2024 年 10 月 10 日（木）

～12 月 19 日（木）

注）今期は下記空港で調査を実施した。

- ・ A 1 全国調査：新千歳空港、函館空港、仙台空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、小松空港、関西国際空港、広島空港、高松空港、福岡空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港（下関）、博多港、厳原港

- ・ B 1 地域調査：新千歳空港、函館空港、青森空港、仙台空港、茨城空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、富山空港、小松空港、関西国際空港、米子空港、岡山空港、広島空港、高松空港、福岡空港、佐賀空港、宮崎空港、鹿児島空港、那覇空港、境港、関門港（下関）、博多港、厳原港

- ・ B 2 クルーズ調査：博多港、長崎港、那覇港、石垣港、平良港

（９）調査の方法

調査対象空海港の出国ロビーにいる訪日外国人に調査員が協力を求め、タブレット端末又は紙調査票を示しつつ、聞き取る方式（他計方式）により行う。

調査票対応言語

英語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、タイ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、インドネシア語、ベトナム語、以上 12 言語

2. 用語の解説

(1) 主要項目

一般客

クルーズ客（後述）を除く訪日外国人。

クルーズ客

出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）第 14 条の 2 に基づく船舶観光上陸の許可を得た訪日外国人。

注）訪日旅行の往復に航空機等を利用し、日本国内発着のクルーズ船を利用した訪日外国人は一般客に含まれる。

団体ツアー

旅行会社等が企画したツアーで、大半の旅程を団体で行動するもの。

個人旅行向けパッケージ商品

個人旅行者向けに、往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった旅行商品。

個別手配

団体ツアーや個人旅行向けパッケージ商品を利用せず、往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配すること。

購入率

ある商品やサービスを購入した人の割合。

購入者単価

ある商品（又はサービス）を購入した人を分母として算出される、その商品（又はサービス）を購入する際に支払った支出金額の平均値。当該商品（又はサービス）を購入していない人も含めて算出される支出金額の平均値（費目別旅行消費単価）とは区別して使用される。

旅行前支出

団体ツアー参加者及び個人旅行向けパッケージ商品の利用者についてはパッケージツ

アー参加費が旅行前支出となる。一方、個別手配者については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃が旅行前支出となる。

旅行中支出

宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代等、訪日外国人が日本滞在中に支払った支出金額。宿泊費や交通費などで旅行前に決済された場合でも旅行中支出に含まれるが、パッケージツアー参加費に含まれる支出金額は含まれない。

旅行総支出

旅行前支出と旅行中支出の合計。

パッケージ内訳

パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費等の国内収入分。回答者から直接報告を得ることができないため、観光・レジャー目的の個別手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて推計する。

旅行支出

旅行中支出にパッケージ内訳を加算した金額。

旅行消費単価

1 人当たり支出の総称であり、旅行中支出又は旅行支出の意。集計表の表題に使用している。

訪日外国人旅行消費額

旅行消費単価に旅行者数を乗じることにより推計される総額。

地方運輸局等

以下に示す 10 の地域区分。それぞれの地域区分に含まれる都道府県は以下の通り。

【1. 北海道】北海道

【2. 東北】青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

【3. 関東】茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

【4. 北陸信越】新潟県、富山県、石川県、長野県

【5. 中部】福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

【6. 近畿】滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県

【7. 中国】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

【8. 四国】徳島県、香川県、愛媛県、高知県

【9. 九州】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

【10. 沖縄】沖縄県

(2) 支出費目

a. 宿泊費

ホテル、旅館、国民宿舎、モーテル、簡易宿泊所、山小屋、下宿屋、保養所、ユースホテル、ゲストハウス、会員制の宿泊施設（タイムシェア、パッケージンレンタルを含む）、有料での住宅宿泊、合宿所、長期滞在者の家賃

注) パッケージツアー料金に含まれる宿泊費は含まれない。出発前にインターネット等で決済したものを含む。日本国外での宿泊費は含まれない。

b. 飲食費

食堂、レストラン、専門料理店、そば・うどん店、すし店、酒場、ビヤホール、バー、キャバレー、ナイトクラブ、喫茶店、ハンバーガー店、飲食系の移動販売、配達飲食サービス

注) パッケージツアー料金又は宿泊費に含まれる飲食費は含まれない。弁当等を購入して持ち帰った場合には e4. その他食料品・飲料・酒・たばこに分類。

c. 交通費

c1. 航空

飛行機（日本国内の移動のみ）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の航空運賃は含まれない。

c2. Japan Rail Pass

JR グループ各社が外国人旅行者向けに提供している特別企画乗車券

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。「Japan Rail Pass」に加え、外国人旅行者向け JR 特別企画乗車券を含む。

c3. 新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール

JR、鉄道、路面電車、地下鉄、モノレール、案内軌条式鉄道（ゆりかもめ等）、鋼索鉄道

（ケーブルカー）、索道（ロープウェイ等、ただしスキー場におけるものを除く）、交通系電子マネーのカード購入費、フリー乗車券（c2. Japan Rail Pass に該当するものを除く）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スキー場におけるリフト・ロープウェイ等の利用料金は d7. スキー場リフトに分類。

c4. バス

乗合バス（路線バス、長距離バス等）、貸切バス（団体観光バス等）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c5. タクシー

ハイヤー、タクシー

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c6. レンタカー

レンタカー、レンタルバイク

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。ガソリン代や有料道路料金、有料駐車場料金は c8. その他交通費に分類。

c7. 船舶

船舶（日本国内の移動のみ）、遊覧船

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の船舶運賃は含まれない。貸ボートは d11. レンタル料、遊漁船は d12. その他娯楽等サービス費に分類。

c8. その他交通費

高速道路・有料道路・橋・トンネル等の通行料、駐車場料金、ガソリン代

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d. 娯楽等サービス費

d1. 現地ツアー・観光ガイド

日本国内での現地ツアー、観光案内(ガイド)

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d2. ゴルフ場・スポーツ施設利用料

次の施設利用料：ゴルフ場、ゴルフ練習場、ボウリング場、テニスコート、フィットネスクラブ、プール、アイススケート場

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ観戦料は d5. スポーツ観戦に分類。

d3. テーマパーク

次の入場料：テーマパーク、遊園地、公園

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d4. 舞台・音楽鑑賞

次のチケット料金：音楽コンサート、演劇、歌舞伎、寄席、サーカス

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d5. スポーツ観戦

次のチケット料金：相撲・サッカー・野球・ボクシング・プロレス・ゴルフの観戦

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ施設利用料は d2. ゴルフ場・スポーツ施設利用料に分類。

d6. 美術館・博物館・動植物園・水族館

次の入場料：美術館、博物館、動物園、植物園、水族館、公民館、図書館、城、プラネタリウム

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d7. スキー場リフト

スキー場における索道(リフト・ロープウェイ等)の利用料金

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d8. 温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション

スーパー銭湯、温泉浴場、砂湯、スパ、健康ランド、ネイルサロン、エステティックサロン、ボディケア、ハンドケア、フットケア、アロマオイルトリートメント、タラソセラピー

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d9. マッサージ・医療費

あん摩マッサージ、指圧マッサージ、はり、きゅう、病院・医院・診療所での診療、整体等の医療類似行為

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。処方薬の購入は e6. 医薬品に分類。

d10. 展示会・コンベンション参加費

次の参加費：展示会、コンベンション、見本市、博覧会、品評会、学会、その他会議

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d11. レンタル料

次のレンタル料：スキーウェア、スキー板、スノーボード板、スケート靴、スポーツ用品、自転車(レンタサイクル)、テント、ボート、ヨット、衣装、ビデオ、本、医療・福祉用具等

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d12. その他娯楽等サービス費

公営競技(競馬・競輪等)の入場料・投票券(馬券・車券等)、映画館、ビリヤード場、

囲碁・将棋所、マージャンクラブ、パチンコホール、ゲームセンター、ダンスホール、マリーナ、遊漁船、芸妓（げいぎ）、カラオケボックス、釣堀、銀行やATMの手数料、両替手数料、保険料、学校、専門学校等の授業料、託児サービス・介護サービスの利用料、コインシャワー、コインランドリー、クリーニング、理容店、美容院、ラウンジ利用料、手荷物預かり所、写真現像、郵便、宅配便の利用料金、公衆電話、携帯電話等の通話料金、等

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

e. 買物代

e1. 菓子類

キャラメル、ドロップ、キャンデー、チョコレート、チューインガム、焼菓子、ビスケット、米菓、和生菓子、洋生菓子、スナック菓子、その他菓子類

e2. 酒類

酒全般：清酒、みりん、ビール、発泡酒、ウイスキー類、果実酒類、合成清酒、焼酎、スピリッツ、リキュール

注) 飲食店等で消費した場合は **b. 飲食費** に分類。宿泊費に含まれている飲食費は **a. 宿泊費** に計上。

e3. 生鮮農産物

野菜（きのこを含む）、果物、花、種苗等

注) 卵・肉等の畜産物、魚等の水産物、加工食品は **e4. その他食料品・飲料・たばこ** に分類。

e4. その他食料品・飲料・たばこ

・ **e1. 菓子類** ～ **e3. 生鮮農産物** を除く食料品全般：卵、肉類、魚介類、缶詰・瓶詰、乳製品、冷凍食品、食用油、精米、乾めん、即席めん、マカロニ・スパゲッティ、生めん、パン、ジャム、はちみつ、調味料・香辛料、

みそ、レトルト食品、即席ラーメン、総菜、弁当、豆腐、納豆、健康食品

・ 酒類を除く飲料全般：緑茶（茶葉）、紅茶（茶葉）、ウーロン茶（茶葉）、コーヒー（豆又は挽いたもの）、炭酸飲料、果実飲料、緑茶飲料、紅茶飲料、ウーロン茶飲料、コーヒー飲料、麦茶飲料、豆乳、ミネラルウォーター、スポーツドリンク、栄養ドリンク

・ たばこ全般：紙巻たばこ、葉巻たばこ等

注) 飲食店等で消費した場合は **b. 飲食費** に分類。宿泊費に含まれている飲食費は **a. 宿泊費** に計上。

e5. 化粧品・香水

香水、オーデコロン、頭髮用化粧品（シャンプー、ヘヤーリンス、養毛剤、整髪料等）、皮膚用化粧品（クリーム、乳液、化粧水、パック等）、仕上用化粧品（ファンデーション、口紅、アイメイクアップ等）、日やけ止め、ひげそり用化粧品、歯磨剤

注) 歯ブラシ、化粧用ブラシは **e16. その他買物代** に分類。

e6. 医薬品

医薬品（風邪薬、胃腸薬、湿布薬、目薬等）、調剤薬局での処方薬、腋臭防止剤、洗眼薬、虫除け、外用消毒剤、軟膏剤、ビタミン剤等サプリメント、その他医薬部外品

e7. 健康グッズ・トイレタリー

マッサージ用具（電気製品でないもの）、美顔用具（電気製品でないもの）、エクササイズ用具（電気製品でないもの）、アイマスク、爪切り、磁気ネックレス、石けん・合成洗剤、界面活性剤、柔軟仕上げ剤、医療用ガーゼ、包帯、脱脂綿、ばんそうこう、綿棒、紙タオル、紙ナプキン、紙おむつ、生理用品、ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の紙製衛生用品

e8. 衣類

衣服、スポーツ用衣服、下着・寝着類、コート、レインコート、帽子、毛皮製衣服、ネクタイ、スカーフ、マフラー、ハンカチーフ、靴下、手袋、帽子、和服（着物、浴衣）、帯、足袋類等の和装製品

e9. 靴・かばん・革製品

靴・履物、スポーツ用靴（登山靴、スケート靴、ゴルフ靴等）、スリッパ、サンダル、かばん、ハンドバッグ、リュック、ランドセル、スーツケース、名刺入れ、財布、ベルト、腕時計用革バンド

e10. 電気製品

デジタルカメラ、ビデオカメラ、デスクトップパソコン、ノートパソコン、ディスプレイ・モニター、外部記憶装置、プリンタ、炊飯器、ジャーポット、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、電磁調理器、エアコン、扇風機、電気温水器、除湿器、加湿器、空気清浄機、電気アイロン、掃除機、洗濯機、洗濯物乾燥機、電気温水洗浄便座、電気ドライヤー、電気シェーバー、電気ストーブ、電気カーペット、電気マッサージ器具、ランプ、携帯電灯、懐中電灯、乾電池、蓄電池、ステレオセット、デジタルオーディオディスクプレイヤー、補聴器、スピーカ、マイクロホン、イヤホン、テレビ、ラジオ、電話機、ファクシミリ、携帯電話機、カーナビゲーションシステム、電気製品の部品

e11. 時計・フィルムカメラ

腕時計、置時計、ストップウォッチ、タイマー時計、時計の部品、フィルムカメラ、インスタントカメラ、カメラレンズ、カメラ付属品（ストロボ、三脚等）、望遠鏡、双眼鏡

e12. 宝石・貴金属

宝石（天然宝石、真珠等）や貴金属（金、銀、プラチナ等）が主体である以下の製品：アク

セサリー（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）、メダル、貴金属製たばこケース、貴金属製ナイフ・フォーク・スプーン・皿等の洋食器類、その他の身近細貨品

e13. 民芸品・伝統工芸品

日本の地域独自の手工芸品に該当する以下の製品：織物、染色品、陶磁器、漆器、ガラス容器、木工品、竹工品、金工品、仏壇、仏具、和紙、文具（筆、墨、硯、そろばん）、石工品、人形、玩具、扇子、団扇、和傘、提灯、和楽器、工芸用具、工芸材料、アクセサリー（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）

e14. 本・雑誌・ガイドブックなど

新聞、書籍、マンガ、雑誌、定期刊行物、その他の出版物、絵葉書、ポスター

e15. 音楽・映像・ゲームなどソフトウェア

音楽や映像等のコンテンツが記録されているメディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ、レコード等）、ゲームソフト、コンピュータソフト（CD、DVD等）、有料アプリ

e16. その他買物代

寝具、じゅうたん・カーペット、タオル、カーテン、クッション、家具、文房具、箸（はし）、台所用品（包丁、まな板等）、食器、アクセサリー、乗用車・二輪自動車・自転車とその部品、空の記録メディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ等）、玩具（おもちゃ）、ゲーム機、楽器、歯ブラシ、化粧用ブラシ、清掃用品（ほうき、はたき、モップ）、洋傘、マッチ、たばこ用ライター、模型（地球儀、食品模型）、魔法瓶、線香類、眼鏡、眼鏡わく、眼鏡レンズ、コンタクトレンズ、カメラフィルム等

注) e12. 宝石・貴金属又は e13. 民芸品・伝統工芸品に相当するものを除く。

f. その他

その他 (a. 宿泊費から e. 買物代までに相当しないもの)

注) 現地ツアー料金に含まれる保険料は d1. 現地ツアー・観光ガイドに計上。電話機本体の購入は e10. 電気製品に分類。

（３）買物場所

百貨店・デパート

原則として百貨店協会加盟の店舗

家電量販店

PC やカメラ、電気製品を専門に販売する店舗

ファッション専門店

服・靴・靴・アクセサリ・高級腕時計等を専門に販売する店舗

100 円ショップ

店内の商品を原則として 1 点 100 日本円均一で販売する形態の小売店

高速道路の SA・道の駅

高速道路のサービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）、国土交通省に登録されている「道の駅」

観光地の土産店

観光地内にある小売店

宿泊施設

旅館・ホテル等の館内に併設されている土産店

スーパーマーケット

高頻度に消費される食料品や日用品等をセルフサービスで短時間に買えるようにした小売店舗

コンビニエンスストア

年中無休で長時間の営業を行い、小規模な店舗において主に食品、日用雑貨等多数の品種を扱う形態の小売店

ドラッグストア

医薬品や化粧品、トイレタリーを中心とし、併せて日用品や文房具、食料品等を扱う店舗

ディスカウントストア

一時的なセールではなく常に低価格で商品を提供する安売り店舗で、一般的には生鮮食料品を除く生活用品を総合的に取り扱う

アウトレットモール

「メーカー品」（通常、メーカーのブランド名を表示したもの）や、「高級ブランド品」（通常、百貨店等で高額でも購入者がつき、販売可能なもの）を低価格で販売する複数のアウトレット店舗を一箇所に集めモールを形成したショッピングセンター

都心の複合商業施設

都心部に立地し、商業施設や飲食施設、映画館、遊技場等の娯楽施設等が一体的に整備された施設

その他ショッピングセンター

複数の小売店舗が入居する商業施設で、上記の買物場所に当てはまらないもの

鉄道駅構内の店舗

駅構内にある小型売店

注）駅ビルは「百貨店・デパート」に含まれる。

空港の免税店

空港の制限区域内にあるブランドショップ

クルーズ寄港港湾内の店舗

クルーズ船が寄港する港の旅客施設内に設置されている小売店舗（臨時店舗を含む）

その他

上記に当てはまらない買物場所（書店、CD・DVD・レコード販売店、家具屋、観光施設内にある店舗、アンテナショップ、郵便局、質屋・金券ショップ等）

3. 調査の結果

(1) 表章事項

A 1 全国調査及びB 1 地域調査

国籍・地域別、居住地別ならびに訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の3つの集計区分毎に、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、平均泊数を表章している。加えて、国籍・地域別の消費税に係る免税手続き実施状況、国籍・地域別及び出国港別の都道府県別訪問率を表章している。

参考として、パッケージツアー参加費内訳を含む旅行消費単価や、訪日旅行に関する意識について国籍・地域別の集計を行っている。また、主な来訪目的が「観光・レジャー」の旅行者に限定して、国籍・地域別及び訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の集計区分による集計も行っている。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地別を集計区分とし、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、滞在日数を表章している。

(2) 集計方法

ウェイトバック集計

本調査の回答数は訪日外国人の「国籍・地域」や帰国時に利用する「出国港」によって区分される層毎で標本の抽出率が異なる。そのため、集計結果を母集団の構成に合わせることを目的として、集計表の作成にあたってはウェイトバック（重み付け）を施している。四半期調査結果では、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」ならびに法務省「出入国管理統計」の単純出国者数をウェイトとして使用している。

なお、集計表中に統計精度の参考値として「回答数」を付記しているが、これは回収された回答数を単純に計数したものであり、ウェイトバックを施していない。そのため、ウェイトバック集計により算出された「構成比」や「購入率」「選択率」などの統計値と、「回答数」を元に算出するこれらの数値は一致しない点に留意されたい。

当該ウェイトバック集計の算出式は次の通りである。

$$X = \frac{\sum_i x_i N_i}{\sum_i N_i}$$

X : 全体（全国籍・地域）の統計値

x_i : 層 i の統計値

N_i : 層 i の訪日外客数

さらに、A 1 全国調査とB 1 地域調査の整合を図るため、B 1 地域調査から導出される集計表については、以下の数値に関してA 1 全国調査の結果と一致するようにウェイトの調整を行っている。

- ・ 国籍・地域（21 区分）及び主な来訪目的（3 区分）別の訪日外国人旅行者数
- ・ 主な来訪目的（2 区分）別の旅行中支出（総額、大費目別）

旅行支出の円換算

旅行支出については、円又は自国の通貨で調査し、原則としてIMF（国際通貨基金）公表の日次データによる調査期間中平均値を用いて円換算した。但し、IMFにデータがない通貨のうち、ニュー台湾ドル及び香港ドルについてはFRB（連邦準備制度理事会）、インドネシア・ルピアおよびベトナム・ドンについては財務省貿易統計の資料を基に円換算を作成した。

(3) 調査結果の精度

A 1 全国調査

表4 国籍・地域別 1人当たり旅行総支出

国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数	国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数
韓国	2.8%	882	英国	3.8%	188
台湾	2.6%	702	ドイツ	2.5%	305
香港	2.4%	723	フランス	4.1%	142
中国	3.4%	1,129	イタリア	4.6%	99
タイ	2.9%	350	スペイン	4.8%	81
シンガポール	4.5%	158	ロシア	6.6%	52
マレーシア	3.2%	363	米国	2.0%	1,277
インドネシア	5.5%	220	カナダ	4.0%	222
フィリピン	5.2%	260	オーストラリア	3.6%	255
ベトナム	4.1%	353	その他	3.4%	338
インド	4.0%	269	総数		8,368

B 1 地域調査

表5 訪問地別 1人1日当たり旅行中支出

都道府県 (47区分)	標準 誤差率	有効 回答数	都道府県 (47区分)	標準 誤差率	有効 回答数
北海道	2.6%	1,265	三重県	9.4%	229
青森県	8.0%	165	滋賀県	8.9%	114
岩手県	9.9%	103	京都府	1.8%	4,755
宮城県	6.9%	256	大阪府	1.6%	5,820
秋田県	12.3%	68	兵庫県	4.7%	1,155
山形県	14.3%	84	奈良県	4.4%	2,213
福島県	30.8%	107	和歌山県	14.9%	213
茨城県	11.7%	176	鳥取県	9.9%	109
栃木県	5.1%	372	島根県	20.7%	60
群馬県	6.9%	132	岡山県	6.1%	272
埼玉県	12.1%	269	広島県	2.8%	931
千葉県	3.4%	6,221	山口県	10.5%	116
東京都	2.0%	8,714	徳島県	13.3%	63
神奈川県	4.8%	1,848	香川県	9.3%	236
新潟県	18.5%	82	愛媛県	7.5%	111
富山県	8.7%	338	高知県	14.7%	60
石川県	4.6%	676	福岡県	2.3%	1,962
福井県	15.5%	62	佐賀県	13.6%	128
山梨県	3.4%	1,674	長崎県	5.5%	231
長野県	5.6%	724	熊本県	6.2%	422
岐阜県	4.2%	1,100	大分県	3.6%	731
静岡県	10.7%	985	宮崎県	10.0%	97
愛知県	3.2%	2,039	鹿児島県	9.9%	153
			沖縄県	3.2%	528
			総数		25,594

B 2 クルーズ調査

表6 国内最終寄港地別 1人当たり旅行中支出

最終寄港地 (3区分)	標準 誤差率	有効 回答数
博多港	7.8%	439
長崎港	6.6%	585
那覇・平良・石垣港	7.7%	412
総数		1,436

(4) 利用上の注意

- ・ 2018年より調査方法を変更したため、2017年までの数値との比較には留意が必要である。
- ・ 各数値はウェイトバック集計後に四捨五入をしており、全体の数値と内訳の合計とは一致しない場合がある。
- ・ 集計表で使用されている「ー」は、該当する回答者のいない層（又は集計対象外の層）であることを示している。
- ・ 集計事項により回答数が小さい数値については、取り扱いに留意されたい。
- ・ 都道府県、地方運輸局等別の訪問地には、出入国空海港の所在地が含まれる。
- ・ 各調査結果については、十分な回答数が確保できない場合もあるため、標準誤差率の大きい国籍・地域、都道府県、最終寄港地には留意されたい。

＜集計表＞

【一般客（全目的）】

表 1-1	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容
表 1-2	居住地（21 区分）別	回答者属性および旅行内容
表 1-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容
表 2-1	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価
表 2-2	居住地（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価
表 2-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価
表 3-1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
表 3-2	居住地（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
表 3-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
表 3-4	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 泊当たり旅行消費単価
表 4-1	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数
表 4-2	居住地（21 区分）別	平均泊数
表 4-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数
表 5-1	国籍・地域（21 区分）別	消費税に係る免税手続き実施状況
表 6-1	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率
表 6-2	出国港（25 区分）別	都道府県別訪問率
参考 1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）
参考 2	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）
参考 3	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）

【一般客（観光・レジャー目的）】

参考 4	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容
参考 5	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価
参考 6	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
参考 7	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数
参考 8	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率
参考 9	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）
参考 10	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）
参考 11	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）
参考 12	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容
参考 13	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価
参考 14	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
参考 15	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数

【クルーズ客（船舶観光上陸許可を得た外国人）】

表 7-1	国内最終寄港地（3 区分）別	回答者属性および旅行内容
表 7-2	国内最終寄港地（3 区分）別	費目別購入率および購入者単価
表 7-3	国内最終寄港地（3 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価
表 7-4	国内最終寄港地（3 区分）別	都道府県別訪問率（寄港地）

訪日外国人の消費動向
2024 年 10-12 月期 報告書

発 行 2025 年 3 月

編 集 国土交通省観光庁
観光戦略課観光統計調査室

〒100-8918

東京都千代田区霞が関 2 丁目 1 番 2 号

電話 代表 03 (5253) 8111

内線 27230

直通 03 (5253) 8325

URL <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>